

位置図

S=1 : 10000

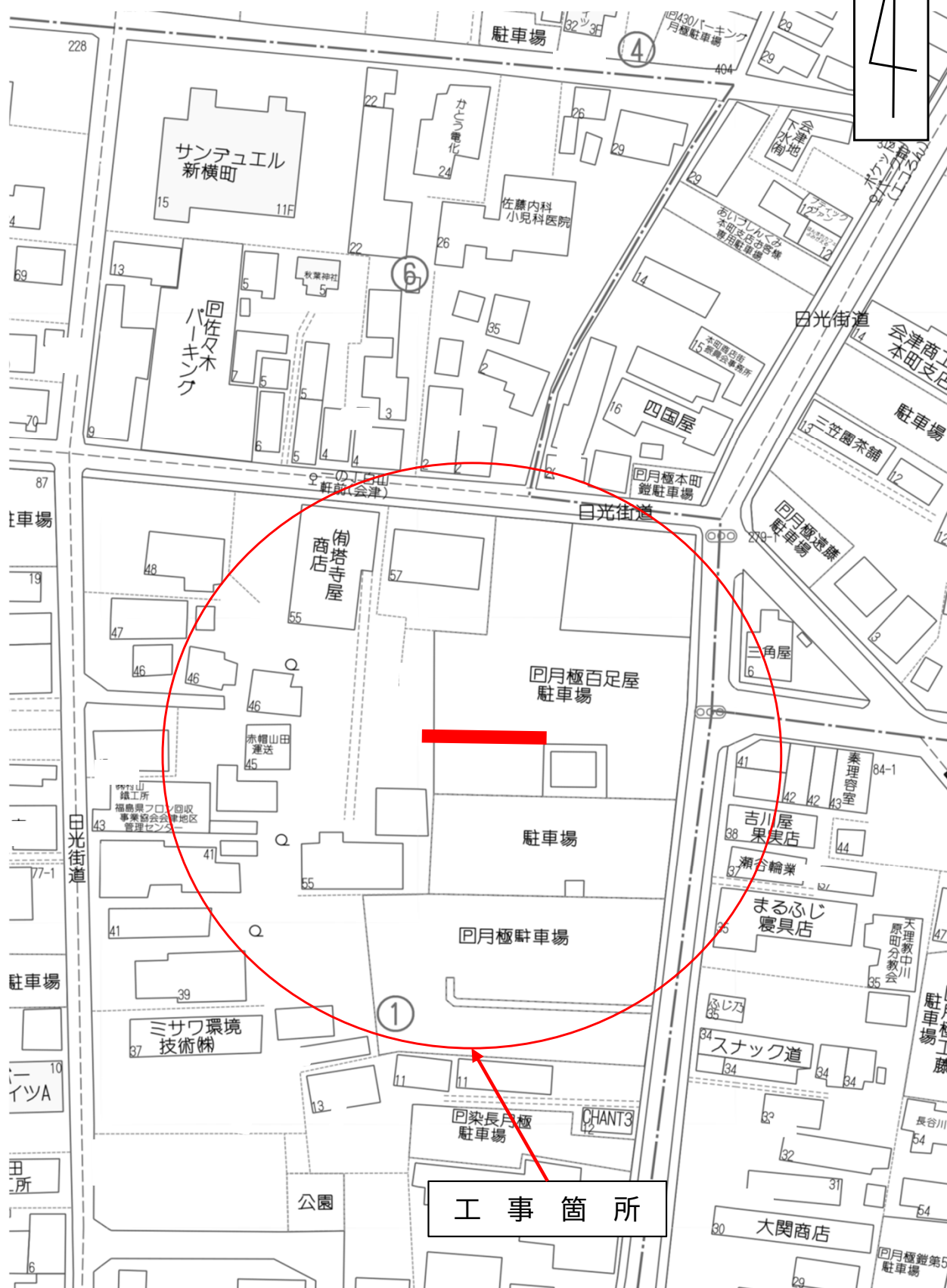
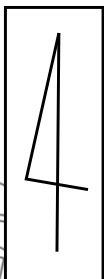


工事箇所

公共下水道管理設工事（枝線）新横町工区



案内図



公共下水道管理設工事（枝線）新横町工区

工 事 設 計 書 （ 金 抜 ）	
工 事 番 号	令 和 7 年 度 第 320 号
工 事 名	公共下水道管埋設工事(枝線)新横町工区
路 線 名	県道 会津若松三島線
工 事 箇 所	会津若松市新横町 地内
工 種	下水道

工事概要		当初	
工事日数		106日	
管路施設工		L=32.6m	
内径150mm管布設工		L=31.7m	
1号マンホール設置工		N=2箇所	
公共汚水ます設置工		N=2箇所	
(防護蓋)		N=2箇所	
仮設工		N=1式	
起 工 理 由	本市の公共下水道整備計画(会津若松処理区)に基づき、汚水管埋設工事を施工するものです。		
仕 様	特記仕様書によること。		
摘 要	・ 福島県土木部監修共通仕様書[土木工事編]による。		
	・ 会津若松市工事請負契約約款による。		
	会津若松市上下水道局元請・下請関係適正化指導要綱を遵守すること。また、工事内容の変更又は請負代金の変更があった場合、受注者である元請負人においては、変更等の経緯を踏まえた適正な対応が求められることについて留意すること。		
	・ 会津若松市発注工事等からの暴力団等排除措置要綱を遵守すること。		
	・ 不測の事故に適切に対応できるよう、請負業者賠償責任保険に加入していること。(契約時に加入していれば可。)その証券の写しを遅滞なく提出すること。		
	・ 請負金額500万円以上の場合はCORINS(コリンズ)に登録すること。		
	・ 工事用資材等の購入・調達にあたっては、地産地消の推進に努め、下請工事の発注についても地元業者の活用心がけること。		
	・ この工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律第104号)に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。		
	・ その他については、監督員と協議すること。		
当初設計年月	令和7年9月		

特記仕様書

工事番号： 第 320 号
 路線名： 県道 会津若松三島線
 工事名： 公共下水道管埋設工事（枝線）新横町工区
 工事施工箇所： 会津若松市新横町 地内

- 1 本工事の施工にあたっては、「共通仕様書 土木工事編（令和7年1月20日改正）福島県土木部」に基づき実施しなければならない。文書中「福島県」とあるものは「会津若松市（上下水道局）」と置き換えるものとする。ただし、会津若松市上下水道局及び会津若松市の定めた様式がある場合は、その様式を優先とする。
- 2 本工事の施工にあたり、該当する項目は、☒としている箇所である。
 ただし、以下については、全ての工事に該当する項目である。
 - ・第7章 労働者確保に関する積算方法の試行工事
 - ・第18章 法定外の労災保険の付保
 - ・第19章 異常気象時における現場状況の報告
 - ・第20章 再生資源利用計画書
 - ・第21章 再生資源利用促進計画書
 - ・第22章 請負業者賠償責任保険の加入の義務付けについて
 - ・第23章 暴力団関係者の排除
 - ・第24章 地産地消の推進
 - ・第25章 安全管理
- 3 本特記仕様書は、共通仕様書に優先する。
- 4 設計図書として扱う図面は以下（別紙）のとおりとする。

図 面 名	図面番号	葉数	適 用
平面図・縦断図・横断図・位置図	1	1	
土工標準図	2	1	
1号マンホール標準構造図	4	1	
取付管標準図・汚水桝標準図 ・取付管標準横断図・汚水桝蓋標準図	5	1	
計	全 4 葉		

5 以下（別紙）の図面は参考図とする。

図 面 名	図面番号	葉数	適 用
土留工標準図	3	1	
計	全 1 葉		

6 本工事の施工にあたって、資機材及び労働者の調達に時間を要することが判明し、受注者から協議があった場合は、工事の一時中止及び工期の変更について検討し、決定するものとする。

7 設計図書に基づき監督員が受注者に指示した書面及び受注者が提出し監督員が承諾した書面は、設計図書とする。

8 設計変更に係る業務の円滑化を図るためのツールとして「会津若松市建設工事設計変更等ガイドライン」を活用すること。

※ 会津若松市ホームページ>各課のご案内>契約検査課>入札・契約関係例規等

会津若松市上下水道局下水道施設課

☑第1章 一般共通事項

- ☑1 下記の規制区域に該当するため、監督員と協議のうえ、関係官公庁に対して緊密な連絡をとり、協調を保つものとする。許可関係等がある場合には、監督員と協議のうえ、着手するものとする。

- | | | | |
|--------------|----------------------------|---|---------------------------------------|
| 1) 国有・民有保安林 | <input type="checkbox"/> 有 | ・ | <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 2) 鳥獣保護区域 | <input type="checkbox"/> 有 | ・ | <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 3) 国立・県立公園区域 | <input type="checkbox"/> 有 | ・ | <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 4) 鉄道近接区域 | <input type="checkbox"/> 有 | ・ | <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 5) その他 () | <input type="checkbox"/> 有 | ・ | <input checked="" type="checkbox"/> 無 |

☑2 施工区域内の地下埋設設備の確認について

受注者は、当該工事を実施するにあたり、「建設工事公衆災害防止対策要綱 第5章 埋設物（共通仕様書 土木工事編Ⅲ）」を遵守し、地下埋設物確認書を用いて、埋設物管理者に対し地下埋設物有無の確認後、発注者に地下埋設物確認書を提出してから着手すること。

☑3 架空線等上空施設の現地調査について

受注者は、当該工事を実施するにあたり、「共通仕様書 土木工事編Ⅰ」に記載されている架空線等上空施設の現地調査を行い、その調査結果について監督員に報告すること。

- ☑4 福島県の絶滅のおそれのある野生生物の生息区域との関係 ☐有 ・ ☒無
有の場合は、監督員と施工方法、施工時期、保護対策等について綿密な打合せを行うこと。

☐5 河道掘削に伴う工事測量

河道掘削工事にあたっての工事着手時の測量については、伐採、伐開除根、表土剥ぎ等を行った上で実施すること。

☐第2章 余裕期間設定工事

本工事は余裕期間設定工事である。

☐1 余裕期間の種類

☐1) 発注者指定方式

受注者が利用すべき余裕期間及び着手日を発注者があらかじめ指定する方式。

☐2) 任意着手方式

受注者が、工事の始期を契約締結日から工事着手期限日までの間で選択できる方式。契約の締結日までに余裕期間利用に係る届出書により、着手日（工事の始期）を通知すること。

なお、上記届出書提出後、受注者の準備が整った場合は、協議のうえ、工期に係る契約を変更することにより、工事に着手することができるものとする。

☐3) フレックス方式

受注者が、工事の始期及び終期を全体工期内で選択できる方式。受注者は発注者が設定した期限を超えない範囲かつ示した工期までの間で、工事の始期及び終期を任意に設定できる方式であるが、発注者が設定した期限を超えない範囲かつ

施工可能な余裕を持った工期設定とすること。契約の締結日までに余裕期間利用に係る届出書により、着手日（工事の始期）を通知すること。

なお、上記届出書提出後、受注者の準備が整った場合は、協議のうえ、工期に係る契約を変更することにより、工事に着手することができるものとする。

□2 各種手続き等

1) 着手日に提出する書類（基本は「全体工期」を記載）

- ・着手届等、市工事請負契約規定に係る書面
- ・建退共掛金収納書
- ・法定外労災保険加入証書（写し）

2) コリンズ登録

受注時の「コリンズ登録」は、着手後に監督員の確認を受け、着手後、速やかに登録機関に登録申請しなければならない。工期及び従事期間は、実工期とすること。

3) 会津若松市元請・下請関係適正化指導要綱関係

施工体制台帳については、会津若松市元請・下請関係適正化指導要綱第 10 に基づき、提出するものとする。

4) その他

余裕期間内は、現場代理人等の技術者の配置することを要しない。余裕期間内に受注者ができる準備行為は、現場の下見、労働者の手配及び下請業者との契約、各種協議、現場に搬入しない資機材等の手配を行うことができるが、現場事務所及び看板の設置、資材の搬入は、現場着手とみなされるため行ってはならない。

なお、余裕期間中に行う準備は受注者の責任により行うものとする。

☑第3章 週休2日工事

1 本工事は、「会津若松市週休2日工事实施要領」の対象工事（発注者指定型）である。

2 受注者は実施要領に定める事項について遵守しなければならない。

※当初積算時に「月単位の4週8休以上」を確保する場合の補正を行っている。

☑第4章 建設現場等における遠隔臨場

1 本工事は、『会津若松市建設現場等における遠隔臨場に関する試行要領』の対象工事である。

2 受注者は、試行要領に定める事項について遵守しなければならない。

ただし、試行対象外工事（無の場合）であっても、工事契約後、遠隔臨場の実施を希望する場合は、受発注協議の上で試行の対象とすることができるものとする。

※協議は、施工計画書提出までに行うこと。

なお、当該工事においては、段階確認の全項目の記録と保存を行うこと。

☑第5章 建設工事情報共有システム（ASP）

1 本工事は、「会津若松市建設工事情報共有システム実施要領」の対象工事である。

2 受注者は、実施要領に定める事項について遵守しなければならない。

☑第6章 熱中症対策に関する現場管理費の補正及び工期の設定

- 1 本工事は、「会津若松市発注工事における熱中症対策に関する実施要領」の対象工事である。
- 2 受注者は、実施要領に定める事項について遵守しなければならない。
- 3 本工事は、猛暑による作業不能日数を 日間見込んでいる。

☑第7章 労働者確保に関する積算方法の試行工事

(本章はすべての工事に該当する)

- 1 本工事は、「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用（以下「実績変更対象間接費」という。）について、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、土木工事標準積算基準（福島県土木部）に基づく金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更する「労働者確保に関する積算方法の試行工事」である。

共通仮設費（率分）に占める実績変更対象間接費（労働者送迎費、宿泊費、借上費）の割合： 9.45 %

現場管理費（率分）に占める実績変更対象間接費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用）の割合： 1.22 %

食事、通勤等に要する費用

- 2 本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額（土木工事標準積算基準に基づき算出した額）における実績変更対象間接費の割合は特記仕様書に記載したとおりである。
- 3 受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更を希望する場合は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書（様式1）」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類（領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。）を監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。
- 4 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。
- 5 受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象間接費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、土木工事標準積算基準に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。
なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。
- 6 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。
- 7 受注者は、実績変更対象間接費にかかる設計変更について疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

☑第8章 総 則

☑1 施工計画書

工程管理ネットワークまたはバーチャートにより行うものとする。

なお、施工計画書作成にあたっては、「施工計画書作成の手引き（土木工事編）」（福島県技術管理課ホームページ参照）を参考にすることができる。

□2 工事用地等の使用

□1) _____作業に係るヤードとして、別添「_____図」による土地を使用すること。(土地の使用は可能である。)

□2) 使用にあたっての条件、制限等

□3 関連工事

1) 工 事 名 : _____

2) 路河川名 : _____ 線・筋

3) 施工箇所 : _____ 市・郡 _____ 町・村 大字 _____ 字 _____ 地内

4) 注意・指示事項 : _____

□4 支給材料及び貸与品

支給材料及び貸与品、またその引き渡し場所等については、下記のとおりとする。

支給品目 : _____ 数量 : _____

引渡時期 : _____

引渡場所 : _____

□5 工事現場発生品

1) 工事現場発生品及びその引き渡し場所は、下記のとおりとする。

発生品目 : _____

引渡時期 : _____

引渡場所 : _____

2) 従来施設の撤去により発生した_____は、_____材料として再使用するものとし、使用にあたってはあらかじめ監督員の数量検査を受けなければならない。

☑6 建設副産物処理

□1) 下記の建設副産物は、現地において下記のとおりリサイクル処理するものとする。

建設副産物名	処理方法等	備考

☑2) 下記の建設副産物は、下記に示す方法で処理するものとする。ただし、施設は指定するものではない。

建設副産物名	処理方法	積算上の施設※
アスファルト殻	(再資源化)・中間・最終)施設へ搬入	(株) 東北入谷まちづくり建設
コンクリート殻(無筋)	(再資源化)・中間・最終)施設へ搬入	(有) 吉田骨材店上米塚工場
コンクリート殻(有筋)	(再資源化)・中間・最終)施設へ搬入	(有) 吉田骨材店上米塚工場
排水(汚泥)	(再資源化)・中間・最終)施設へ搬入	(株) ミツワ

※ 積算上の施設は積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではなく、ここに明示した施設と異なる施設に処理する場合は、監督員の承諾を得ることとする

が、設計変更の対象とはしない。なお、受入拒否等により処理施設の条件が異なる場合は、その記録をもって設計協議の対象とする。

- 3) 金属くずについては、簡単に分別可能であり、明らかにスクラップとして売却処分できるものについては、協議の対象とする。

☑7 中間検査に関すること

工事の施工過程において適正な契約の履行を確保するために行う検査である。

工事完成後不可視となる部分の施工精度及び品質管理、施工体制等を検査するために、実施する場合があるので、発注者から中間検査を求められた際は、受注者は対応にあたるものとする。

□8 監督員による確認及び立会等

監督員による検査及び立会は、共通仕様書によるもののほか下記のとおりとする。

検査及び確認事項	工種・箇所等	段階(確認時期)	備考

□9 施工管理

管理基準等については共通仕様書によるが、下記の工種については下記の規格値等で管理するものとする。

□1) 出来形管理

工 種	測定項目及び規格値	測定基準	測定箇所

□2) 品質管理

工種及び種別	試験項目及び試験方法	規格値	試験基準等

□3) 写真管理

工 種	撮影項目	撮影頻度	提出頻度

□10 コンクリートの圧縮強度試験

「共通仕様書 土木工事編Ⅱ」の「品質管理基準及び規格値」における「1セメント・コンクリート」によるもののほか、下記の構造物に使用するセメント・コンクリートの圧縮強度試験のうち、材齢28日圧縮強度試験は公的試験機関で実施すること。

構造物名	コンクリートの品名等	摘 要

☐ 11 用地取得及び支障物件

☐ 1) 工事区域内の用地確保 (☐ 済 ・ ☐ 一部未了)

工事区域内に用地の確保が未了である場合は、監督員と緊密な連絡を保ち、解決に協力すること。

【用地取得見込時期】 年 月 (☐ 上旬 ☐ 中旬 ☐ 下旬)

☐ 2) 工事支障物件: ☐ 有 ・ ☐ 無

【支障物件移転予定時期】 年 月 (☐ 上旬 ☐ 中旬 ☐ 下旬)

☒ 12 工事の履行報告 (工程会議)

工事着工後、履行状況については、毎月1日に監督員に提出すること。

なお、休日の場合は、日程について監督員と協議すること。

また、協議様式は、監督員の指示によること。

☒ 13 工事現場管理

交通誘導警備員は 施工区間 に 3 人 配置する。

交換要員は - 人 配置する。

なお、詳細については施工計画書において監督員と協議すること。

☒ 14 作業工程

1) 本工事は、昼間作業とし、時間帯は8:30～17:00までとする。

(道路使用許可条件による)

2) 作業工程における注意事項:

定められた時間帯に作業が終了出来ない場合には、受注者はすみやかに監督員に報告し、受注者及び監督員において、会津若松警察署と協議するものとする。

3) 現道の使用規制について

現道は、 により本工事を施工するものとする。

4) 工事を施工しない日 ☐ 有 ・ ☒ 無 年 月 日

工事を施工しない時間帯 ☐ 有 ・ ☒ 無 : ~ :

「工事を施工しない時間帯」は、

☐ 工期全体 ☐ 上記「工事を施工しない日」 ☐ に適用する。

☒ 15 仮設

☒ 1) 指定仮設の有無 ☐ 有 ・ ☒ 無

☐ 2) 指定仮設

仮設物名	規格・寸法・構造	資料の有無	備考

□ 3) 下記の仮設物は工事完了後も工事現場に存置すること。

仮設物名： _____ 数量等： _____

存置期間： _____

□ 16 工事における現場環境改善

当該工事で実施する現場環境改善は、下表の計上費目別に指定する項目数を、実施する内容から選択して実施すること。

計上費目	実施する項目数	実施する内容 (率計上分)
現場環境改善 (仮設備関係)	()	① 用水・電力等の供給設備 ② 緑化・花壇 ③ ライトアップ施設 ④ 見学路及び椅子の設置 ⑤ 昇降設備の充実 ⑥ 環境負荷の低減
現場環境改善 (営繕関係)	()	① 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) ② 労働者宿舍の快適化 ③ デザインボックス(交通誘導警備員待機室) ④ 現場休憩所の快適化 ⑤ 健康関連設備及び厚生施設の充実等
現場環境改善 (安全関係)	()	① 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) ② 盗難防止対策(警報器等) ③ 避暑(熱中症予防)・防寒対策
地域連携	()	① 完成予想図 ② 工法説明図 ③ 工事工程表 ④ デザイン工事看板(各工事PR看板含む) ⑤ 見学会等の開催(イベント等の実施含む) ⑥ 見学所(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営 ⑦ パンフレット・工法説明ビデオ ⑧ 地域対策費(地域行事等の経費を含む) ⑨ 社会貢献

☑ 17 工事名標示板

本工事には、県産木材を利用した工事名標示板を 2 基設置すること。

□ 18 六価クロム溶出試験(及びタンクリーチング試験)

本工事は、「六価クロム溶出試験(及びタンクリーチング試験)」の対象工事であり、下記に示す工事について六価クロム溶出試験(及びタンクリーチング試験)を実施し、試験結果(計量証明書)を提出するものとする。

なお、試験方法は、セメント及びセメント固化剤を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領によるものとする。

また、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員

と協議するものとし、設計変更の対象とする。

(六価クロム溶出試験対象工種及び検体数)

工 種	工 法	配合設計段階	施工後段階
		検体	検体
		検体	検体
		検体	検体

(タンクリーチング試験対象工種及び検体数)

工 種	工 法	検体数	備 考
		検体	
		検体	
		検体	

☑第9章 材 料

☑1 設計図書に指示されていない工事材料は下記の仕様による。

□1) 一般資材

種別	材料名	記号等	品種・規格等	備考

※ 設計図書に規格等の明示のないものを記載する。

☑2) 再生材

材料名	規格等	使用箇所	備考
再生骨材	RC-40	下層路盤、路床、路体、碎石埋戻し	
再生アスファルト合材	密粒度 As20F, As20	表層工	
再生アスファルト合材	密粒度 As13	仮復旧工	

※再生骨材・再生アスファルト合材については、運搬距離40kmの範囲までの再資源化施設についてストック量を調査し使用することとする。これにおいても再生材が入手不可能であった場合は、発注者と受注者が協議を行った上で新材を使用することができるものとし、設計変更の対象とする。

□2 下記の工事材料については、受注者の責任においてその外観及び品質証明書等を照合して確認した資料、見本等を事前に監督員に提出し確認を受けること。

また、工事材料のうち試験を行わなければならない材料は下記のとおりとする。

種別	材料名	記号等	品種・規格等	備考
				確認資料・見本・試験()
				確認資料・見本・試験()
				確認資料・見本・試験()

※ 備考欄で種別を選択する。(試験のカッコ書きは試験方法を記入する)

- 3 下記資材及び仮設材等については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合又は調達地域内からの購入である場合においても設計価格と乖離がある場合には、事前に監督員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類（実際の取引伝票等）を監督員に提出するものとし、その費用について設計変更の対象とする。

資 材 名	規 格	調達地域等

仮 設 材 名	規 格	調達地域等

☑第10章 一般施工

☑1 建設発生土の処理

- 1) 他工事への流用： □ 有 ・ □ 無

工事名：_____ 路河川名：_____

施工場所：_____市・郡_____町・村 大字 _____ 字 _____ 地内

運搬距離 _____km

- ☑2) □指定場所有り

受入場所：_____市・郡_____町・村 大字 _____ 字 _____ 地内

運搬距離 _____km

□指定場所調整中

指定場所決定時期 _____年 _____月 (□上旬 □中旬 □下旬)

運搬距離 _____km

☑指定場所無し

運搬距離 _____5.6_____km

- 3) 建設発生土の運搬距離については上記1) 及び2) としているが、これにより難しい場合は事前に監督員と協議すること。なお、指定場所無しの場合において、契約後に発注者が指定場所の受入調整を行った場合又は受注者による受入場所確保が困難な場合は、受入地・処理方法の変更について受発注者協議を行うものとする。

- 4) 残土処理後は、最終形状、数量計算書、写真及び運搬距離等の資料を監督員に提出すること。

□2 他工事からの流用土

- 1) 他工事からの流用： □ 有 ・ □ 無

① 工事名：_____ 路河川名：_____

② 指定・施工場所：_____市・郡_____町・村 大字 _____ 字 _____ 地内

③ 運搬の有無： □ 有 ・ □ 無 (_____km)

- ④ 品 質： _____
品質の確認試験（ _____ ）については、 _____ で実施する。

☑ 3 購入土等

- ☑ 1) 購入土等の有無： ☑ 有 ・ □ 無
☑ 2) 購入土等の種類： ☑ 購入土 ・ □ 岩ズリ ・ □ その他（ _____ ）
☑ 3) 購入土等がある場合は、受注者は施工計画書に購入先を記載して、監督員に提出する。
□ 4) 購入土等が1工事あたり1,000m³以上の場合、受注者は、工事で使用する購入土等を現場に搬入する前に、購入先の採取計画に関する認可書の写しを監督員に提出し、監督員の確認を受けなければならない。

□ 4 建設汚泥（泥土）の処理

- 1) 汚泥（泥土）は、 _____ による改良を行い、 _____ として再利用する。
□ 2) 改良目標は、国土交通省令の土質区分基準における _____ とする。
□ 3) 改良材料等の種類や添加量については設計図書によるものとするが、受注者は各種試験を行い改良目標が得られるような添加量を検討し、監督員と協議するものとする。
なお、監督員の承諾が得られ、添加量が当初設計と異なる場合は変更設計の対象とする。
□ 4) 改良土の品質管理及び改良土を使用した施工の施工管理基準は設計図書によるものとするが、設計図書に示されていない場合は監督員と協議するものとする。

□ 5 レディーミクストコンクリートの養生

- ☑ 1) レディーミクストコンクリートの養生は、使用するコンクリートの特性をよく理解し、コンクリート種別、打設時期の日平均気温、打設環境に応じて適切な養生を行うものとし、共通仕様書に示す養生期間を遵守すること。また、コンクリートの運搬、打設計画、養生等の方法について、施工計画書に具体的に明記すること。

本工事におけるレディーミクストコンクリートの養生について検討する項目は以下の☑印のとおり。

コンクリート種別	☑ 普通ポルトランドセメント
	☑ 高炉セメントB種 ¹⁾ ☑ 混合セメントB種 □ フライアッシュセメントB種 □ シリカセメントB種
	□ 早強ポルトランドセメント
気象条件	□ 暑中コンクリート(日平均気温が25℃を超える場合)
	□ 寒中コンクリート(日平均気温が4℃以下になる場合) □ 連続して、あるいはしばしば 構造物の露出状態 水で飽和される部分 ²⁾ □ 普通の露出状態

1) 「高炉セメントコンクリートの特性と施工に関する留意点」は福島県技術管理課ホームページ参照

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025b/kouro-semento.html>

- 2) 水路、水槽、橋台、橋脚、擁壁、トンネル覆工等で水面に近く水で飽和される部分、及びこれらの構造物の他、桁、床版等で水面から離れてはいるが、融雪、流水、水しぶき等のため水で飽和される部分。

□6 塗装工

□1) 塗装回数は下塗____回、中塗____回、上塗____回とする。

□2) 塗料の種類は下記のとおりとする。

種別及び箇所	細 別	塗料の種類	目標塗膜厚(μm)
工場塗装	下塗り1層		
	下塗り2層		
現場塗装	中塗り1層		
	中塗り2層		
	上塗り1層		
	上塗り2層		

□3) 素地調整(ケレン)は____とする。

□4) 詳細の色彩等については監督員と協議のこと。

□7 現場打ちの鉄筋コンクリート構造物施工

□1) 受注者は、現場打ちの鉄筋コンクリート構造物の施工にあたっては、「流動性を高めた現場打ちコンクリートの活用に関するガイドライン」により施工する。

□2) 受注者は、現場打ちの鉄筋コンクリート構造物の施工にあたり、設計図書等に「機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン」及び「現場打ちコンクリート構造物に適用する機械式鉄筋継手工法ガイドライン」を採用していない場合は、採用についての協議を行うことが出来る。

□第11章 その他施工

□1 工法の指定

工法は下記によるものとする。なお、現場条件等により、これにより難しい場合は監督員と協議のこと。

工 種	指 定 工 法	備考

□2 建築物又は工作物の解体

石綿障害予防法規則に基づき、解体等の作業における保護具の装着、湿潤を保つ措置を行う費用、石綿の使用の有無を分析によって調査した場合に要する費用については、当初設計では計上していないため、それらに要した費用については、発注者と受注者が協議の上、設計変更で計上するものとする。

また、石綿の使用の有無を分析によって調査する場合の工期の変更についても、会津若松市工事請負契約約款の関係条項に基づき適切に変更することとする。

□3 重建設機械分解・組立及び輸送に要する費用

下記の機械については、分解・組立及び輸送に要する費用を計上しているが、受注者が施工計画で分解・組立を必要としない機種・規格を選定し、使用した場合においても、設計変更の対象としない。

工 種	機 種	規 格

□4 ポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物の使用 ※ 車道および側帯の舗装新設、改築および大規模な修繕（延長 200m 以上の全層打ち換え）を行う工事でポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物を使用する場合に記載

本工事は表層材料に耐流動対策混合物としてポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物を使用する工事であり、塑性変形輪数の基準値の適用区分となる道路区分等は以下のとおりである。（該当するものに「○」）

道路区分	舗装計画 (単位 1 日につき台)	交通量塑性変形輪数 (単位 1 ミリメートルにつき回)	該当欄
第 1 種、第 2 種	3,000 以上	3,000	
第 3 種第 1 級及び第 2 級	3,000 未満	1,500	
第 4 種第 1 級			
その他		500	
交差点等耐流動対策混合物として使用		1,500	

□5 植栽工 ※ 植栽に係る直接工事費が 50 万円以上となる工事の場合該当

本工事で植栽する樹木等については、植樹保険に加入しなければならない。

また、工事完成届提出時まで、植樹保険付保証明書を提出しなければならない。

直接工事費が 50 万円未満の場合は、「共通仕様書 土木工事編Ⅰ」第 4 編第 2 章舗装 2-11-3 道路植栽工 19. 植栽植樹の植替えによるものとする。

□6 鋼橋桁の輸送に要する費用

鋼橋桁については、（例えば東京）からの輸送に要する費用を計上しているが、受注者が施工計画書で示した鋼橋桁の製作場所が（例えば東京）より近距離である場合、設計変更の対象とする。

□第 1 2 章 ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針に基づく工事箇所

「共通仕様書 土木工事編Ⅰ」第 1 編第 1 章総則「1-1-3 「ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針」の取扱い」の規定について、本工事では、特に以下の基本方針のレ印に該当するものについてユニバーサルデザインに配慮した施工をおこなうものとする。

□1 工事を行う基本方針（指針P13）

基本方針1 すべての人が 快適 に利用できる施設

- ① 特定の人が特別扱いされたり、いやな思いをすることのない施設
- ② 右利き、左利きに対応した施設
- ③ 利用方法や利用状況の説明が効果的に行われる施設
- ④ 視覚、聴覚、触覚など多様な手段で、必要な情報が十分に提供される施設
- ⑤ 補助器具や補助手段を効果的に活用できる施設
- ⑥ 繰り返しの動作や、長時間にわたる肉体的負担が伴わない施設
- ⑦ 利用場所に接近しやすく、利用する広さが適切な施設
- ⑧ 重要なものがよく見えるよう、視線が確保されている施設
- ⑨ 使用しようとする全てのものに容易に手が届く施設
- ⑩ 少ない労力で効率的に、楽に使える施設
- ⑪ 利用者に不自然な姿勢を強いない施設
- ⑫ プライバシーに配慮された施設
- ⑬ 天候や季節に左右されない施設
- ⑭ 疲れたときに休むことができる施設

基本方針2 すべての人が 簡単 に利用できる施設

- ① 使い方を直感的に理解できる施設
- ② 利用者の理解力や言語能力の違いが問題にならない施設
- ③ 必要な情報が容易にわかる施設

基本方針3 すべての人が 安全 に利用できる施設

- ① 安全に対する配慮が等しく確保される施設
- ② 危険や間違いやすい状況が発生しない施設
- ③ 使用方法を間違えても重大な結果につながらない施設
- ④ 注意が必要な操作において、不注意な操作を誘発しない施設
- ⑤ 危険なときや使用方法を間違えたときは、注意や警告を発する施設
- ⑥ 危険な部分が防護されている施設
- ⑦ 四季を通じて安全な施設
- ⑧ 災害時や不測の事態が生じて、安全に避難できる施設

基本方針4 さりげなく 美しい 施設

- ① 色や形状などの印象が、利用者にとって抵抗感がなく、受け入れられやすい施設
- ② 創意工夫された内容が、目立ちすぎず、さりげなくデザインされている施設
- ③ 地域の特性を生かし、周辺の景観と調和した施設
- ④ 自然や環境に配慮し、動植物にやさしい施設

基本方針5 どのような状況にも 柔軟 に対応できる施設

- ① できる限り同じ手段で利用できる施設
- ② 利用者に応じた使い方が選べる施設

- ③ 利用者のペースに合わせることができる施設
- ④ 情報がその重要さに応じて提供される施設
- ⑤ 補助器具の使用や人的介助に十分な空間を提供できる施設

□2 特に重点をおいて工事する項目・箇所

□第13章 記録保存の資料作成

- 1 本工事は道路舗装構成物の記録保存の対象工事である。

以下の資料、作成要領に基づき作成すること。

- ・道路舗装構成等の記録保存資料

☑ 第14章 1日未満で完了する作業の積算

本工事は、施工実施にあたり、作業量が1日未満で完了するものと見込まれ、施工パッケージ型積算基準と乖離が認められた場合に、「1日未満で完了する作業の積算」に基づき積算が出来る工事である。

- 1 「1日未満で完了する作業の積算」（以下、「1日未満積算基準」という。）は、土木工事標準積算基準による。
- 2 受注者は、1日未満積算基準の対象となる施工パッケージ型積算基準と乖離があった場合に協議を行い、作業内容が1日未満積算基準に該当すると認められた場合には、変更設計の対象とする。
- 3 同一作業員の作業が他工種・細別の作業と組合せて1日作業となる場合には、1日未満積算基準は適用しない。
- 4 受注者は、協議にあたって、1日未満積算基準に該当することを示す書面その他協議に必要な根拠資料（日報、実際の費用がわかる資料等）を監督員に提出すること。また、実際の費用がわかる資料（見積書、契約書、請求書等）により、施工パッケージ型積算基準との乖離が確認できない場合には、1日未満積算基準は適用しない。
- 5 「時間的制約を受ける公共土木工事の積算」を適用して積算する場合、災害復旧工事等で人工精算する場合等、1日未満積算基準以外の方法によることが適当と判断される場合には、1日未満積算基準を適用しない。
- 6 「施工箇所が点在する工事の積算」を適用する場合は、1日未満積算基準において、別箇所として扱う。

□第15章 施工箇所が点在する工事の積算

- 1 本工事は、施工箇所が点在する工事であり、共通仮設費及び現場管理費について標準積算基準と実際にかかる費用に乖離が考えられるため、対象地区ごとに共通仮設費及び現場管理費を算出する「施工箇所が点在する工事の積算方法」の対象工事である。
- 2 本工事における共通仮設費の金額は、対象工区毎に算出した共通仮設費を合計した金額とする。また、現場管理費の金額も同様に、対象工区毎に算出した現場管理費を合計した金額とする。

なお、共通仮設費率及び現場管理費率の補正（施工地域、施工時期等）については、

対象工区毎に設定する。

- 3 諸経費工種については、工事全体で一つ決定し、全ての工区において、同じ工種を設定する。

□第16章 ICT活用工事

□1 本工事の発注方式は（ □受注者希望型 ・ □発注者指定型 ）である。

□2 ICT活用工事（土工）

本工事は、「福島県土木部 ICT活用工事（土工等）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事（土工）」の対象工事である。

□3 ICT活用工事（舗装工）

本工事は、「福島県土木部 ICT活用工事（舗装工）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事（舗装工）」の対象工事である。

☑第17章 舗装の切断作業時に発生する排水の具体的処理について

- 1 受注者は、舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収し、産業廃棄物（汚泥）として処理しなければならない。また、受注者は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分性状等）を処理業者に提供するものとする。
- 2 当該排水の処理に関し、排水量、処分量に変更が生じた場合、受注者は排水量、処分量（産業廃棄物管理票（マニフェスト））等を取りまとめのうえ、監督員と協議を行い設計変更の対象とする。
- 3 当該排水の処理の運搬に関し、受注者自らが運搬することを想定しているが、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。
- 4 受注者は、当該排水が生じない工法（空冷式等）を採用した場合も、当該排水と同様に、吸引する装置の併用など、粉塵の飛散防止対策を実施するとともに、収集した粉塵については、適正な運搬・処理を実施すること。
- 5 品質管理（検査含む）時に実施するコア抜きなどコンクリート及びアスファルト舗装版の削孔作業時に発生する排水の処理については、本章の対象外とするが、受注者において適正に処理を行うこと。

☑第18章 法定外の労災保険の付保

（本章はすべての工事に該当する）

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

受注者は、法定外の労災保険契約を締結したことを証明する書類（証券等の写し）を提出しなければならない。なお、工期の延長により保険期間に不足が生じた場合は、必要な更新を行い、それを証する書類（証券等の写し）を速やかに提出しなければならない。

☑第19章 異常気象時における現場状況の報告

(本章はすべての工事に該当する)

異常気象時の工事現場における対応について下記のとおりとする。

1 異常気象時等の対象

(1) 大雨・洪水等の警報発令時

「工事現場の当該市町村」の気象警報を対象とする。

(2) 震度5弱以上の地震時

「工事現場の当該市町村」の震度5弱以上を対象とする。

ただし、気象条件及び現場条件等を勘案し、別途、監督員から指示がある場合は震度4の場合も対象とする。

2 パトロール等の実施及び報告の内容について

- ① 作業中であれば、作業を中止し、現場内及び周辺の状況把握に努める。
- ② 休工中であれば、必要に応じ2名以上を構成員とする警戒班(巡視員)を出動させて巡回点検(パトロール)を実施する。
- ③ 天気予報であらかじめ異常気象が予想される場合は、事前に防災監視体制を配備し待機する。
- ④ 危険箇所が発見された場合は、すみやかに危険箇所に立ち入らないよう防護措置を講じ、その旨を標示する。また、現場状況を把握し、2次災害防止に努める。
- ⑤ 警報が解除され、作業が再開する前には、工事現場の地盤のゆるみ、崩壊、陥没等の危険がないか入念に点検する。
- ⑥ 地震及び津波が発生した後に、作業を再開する前には、建設物、仮設物、資機材、建設機械、電気設備及び地盤、斜面状況等を十分点検する。
- ⑦ 異常の有無にかかわらず、点検結果を監督員(連絡が取れない場合は、グループリーダーまたはグループ員)に適宜に報告する。また、報告方法は、まず電話連絡し、その後様式にて、FAXまたはメールする。

3 報告期限について

(1) 大雨・洪水等の警報発令時

警報発令後1時間以内及び降雨等の状況等により適宜。

(2) 震度5弱以上の地震時

地震発生後1時間以内。

(被害等が甚大でパトロールの実施が困難である場合などはこの限りでない)

☑第20章 再生資源利用計画書

(本章はすべての工事に該当する)

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

☑第21章 再生資源利用促進計画書

(本章はすべての工事に該当する)

受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

☑第22章 請負業者賠償責任保険の加入の義務付けについて

(本章はすべての工事に該当する)

不測の事故に適切に対応できるよう、請負業者賠償責任保険に加入していること。(契約時に加入していれば可。)その証券の写しを遅滞なく提出すること。なお、工期の延長により保険期間に不足が生じた場合は、必要な更新を行い、それを証する書類(証券等)の写しを速やかに提出しなければならない。

☑第23章 暴力団関係者の排除

(本章はすべての工事に該当する)

受注者は、「会津若松市発注工事等からの暴力団等排除措置要綱」を遵守するとともに、本工事において、暴力団関係者からの資材の購入等、同関係者への下請けの発注及び同関係者が関与する産業廃棄物処理施設の使用を禁止する。

☑第24章 地産地消の推進

(本章はすべての工事に該当する)

本工事における工業用資材の購入及び調達については、規格・品質等条件を満足するものであれば、地元産品の活用等、地産地消の推進に努めること。

また、下請工事の発注についても地元業者の活用に心がけること

☑第25章 安全管理

(本章はすべての工事に該当する)

受注者は、関係法令等を遵守することはもとより、以下の点に特に注意すること。

1 安全管理の徹底

- 1) 転落防止用バリケードの設置は現場状況に合わせて設置し、第三者の現場内への立入防止策を徹底すること。
- 2) 夕方の暗くなってからの作業時は、十分な照明による安全確保を図ること。
- 3) 施工時だけでなく夜間開放後の安全確保を図るため、段差解消やスリップ防止等の措置、警戒標識等の設置による安全対策を徹底すること。
- 4) 重機や車両運転の他、当該工事における交通事故に注意すること。
- 5) 交通誘導警備員や下請作業員等、工事関係者全員に対し、安全管理についての指導徹底を図ること。
- 6) 管理設後から舗設までの期間、第三者への損害を与えないよう十分な路面管理を行うこと。なお、舗装道路において、掘削箇所を埋戻して道路開放する場合は速やかに仮復旧を行い、これにより難しい場合は監督員と協議をすること。
- 7) 路盤施工時に碎石で道路開放となる場合は、速やかに舗設を行うよう努めること

- 8) 交通誘導警備員については、現場状況や作業方法に応じた配置を行うとともに、特に運搬車輛を含む建設機械と作業員及び第三者との安全確保を目的とした配置もすること。

2 周辺構造物等への安全確保

受注者は、工事箇所及びその周辺にある既設構造物等に対して支障を及ぼさないよう、必要な措置を講じなければならない。

- 1) 工事施工に際し、最善の注意をもって維持・管理をし、苦情又は紛争等が生じないように努めなければならない。
- 2) 既設構造物等を事前調査し、必要に応じ、監督員の確認を受けた上で着工すること。また、施工後においては事後調査を実施して、監督員に報告すること。

3 安全管理に関する施工計画の作成

受注者は、施工計画書において、本工事の内容に応じた安全管理に関する計画内容を作成し、監督員に提出すること。特に以下の点については、留意して作成し、明記すること。

- 1) 安全・訓練等の具体的な計画
- 2) 作業工程における危険性・有害性の調査(リスクアセスメント)について調査結果(評価)をもとに、後日、必要な措置内容を明記し、必要措置を実施すること。
- 3) 異常気象時の対応
 - ・ 現場特性の事前把握
 - ・ 異常気象による工事中止基準・再開基準の設定
 - ・ 迅速に退避するための対応
 - ・ 日常の安全管理の徹底

4 安全・訓練等の実施

受注者は、本工事の施工に際し、現場に即した安全・訓練等について、工事着手後、原則として作業員全員の参加により、毎月初めに半日以上時間を割当て、下記の安全・訓練等を実施し、その実施状況についてビデオ等または工事報告等に記録した資料を整備・保管し、監督員の請求があった場合は直ちに提示すること。

- 1) 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
- 2) 本工事内容等の周知徹底
- 3) 本工事安全施工技術指針等の周知徹底
- 4) 本工事における災害対策訓練
- 5) 本工事現場で予想される事故対策
- 6) その他、安全・訓練等として必要な事項

5 ダンプトラック等による過積載の防止

受注者は、本工事の施工に際し、次の事項を遵守しなければならない。

- 1) 工事用資機材等の積載超過のないようにすること。
- 2) 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。
- 3) 資材等の過積載を防止するため、資材の購入にあたっては、資材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- 4) さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプトラックが工事現場に出入りすることがないようにすること。
- 5) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以

下法という)の目的に鑑み、法12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。

6) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。

7) 1から6のことにつき、下請契約における受注者を指導すること。

☑第26章 公共下水道管理設工事に係る特記事項

☑1 監督員による確認及び立会等

監督員による段階確認及び立会いの工種、並びに段階等は、共通仕様書によるもののほか下記のとおりとする。なお、現場条件等により、これにより難しい場合は監督員と協議のこと。頻度については、現場毎に施工計画書に明記するものとし、監督員の確認を受けるものとする。

工 種	工 事 段 階	頻 度	摘 要
仮 B . M	仮 B . M 設 置 後	1 工事 1 回以上	
資 材	資 材 搬 入 後	全 数	
丁 張 り ・ 床 掘	丁張設置・床掘完了後	1 回/100m 以上	
管 基 礎 工	管 基 礎 完 了 後	1 回/100m 以上	
管底高・中心線のずれ	管 布 設 完 了 後	1 回/100m 以上	
現 場 密 度※	転 圧 完 了 後	1 回/100m 以上	路体・路床・路盤
マンホール基礎砕石	基 礎 砕 石 完 了 後	1 回 以 上	1 回以上/連続する路線 または1 回以上/10 箇所
舗 装 前 確 認	舗 装 施 工 前	全 路 線	
完 了 確 認	現 場 施 工 完 了 後	全 路 線	竣工書類
そ の 他	監督員が必要と認めたとき		

※基礎砕石工が路体に含まれる場合は、管上から 300mm 以内で試験を行い、道路土工の路体と同様の品質管理とする。(道路土工の路体の密度試験も兼ねる。)

※基礎砕石工が路床に含まれる場合は、管上から 300mm 以内で試験を行い、道路土工の路床と同様の品質管理とする。路体の施工がない場合は、路床で2 回行う。

☑2 施工管理

☑1) 出来形管理

工 種	測定項目及び規格値	測定基準	測定箇所
※共通仕様書に記載のない工種については、別添会津若松市上下水道局下水道工事出来形管理基準及び規格値で管理するものとする。管布設は逆勾配にならないように施工すること。			

☑2) 品質管理

工種及び種別	試験項目及び試験方法	規格値	試験基準等
※共通仕様書に記載のない工種については、別添会津若松市上下水道局下水道工事品質管理基準及び規格値で管理するものとする。 ※現場密度試験は、「共通仕様書 土木工事編Ⅱ」品質管理基準及び規格値を原則とするが、工事の種類、規模、施工条件等により、この管理基準によりがたい場合は、監督員と協議すること。 ※乳剤散布の施工状況は、散布量・ムラ・品質の確認（散布量試験 プライムコート 126ℓ/100m ² 、タックコート 43ℓ/100m ² ）及び構造物等との接着面に乳剤塗布を実施しているか確認すること。			

☑3) 写真管理

工 種	撮影項目	撮影頻度	提出頻度
※共通仕様書に記載のない工種については、会津若松市上下水道局下水道工事品質管理写真撮影箇所一覧表及び会津若松市上下水道局下水道工事出来形管理写真撮影箇所一覧表で管理するものとする。			

工事写真部数については、竣工書類として提出する他に下記のとおり監督員へ提出するものとする。

尚、占用許可者が複数の場合、又は共同施工がある場合等は提出部数が異なるので、事前に監督員に確認すること。

- ① 契約検査課提出用 …… 施工前・竣工写真 1 部
- ② 道路等管理者提出用 … 施工前・竣工写真、工事経過(抜粋)写真 管理者数
- ③ 共同施工等報告用 …… 施工前・竣工写真、工事経過(抜粋)写真 管理者数
- ④ 事業実績報告用 ……… 施工前・竣工写真、工事経過(抜粋)写真 3 部

☑4) 汚水ます調書

ア 汚水ます調書は、申し出毎に関係書類を整理するものとする。尚、下水道本管及び公共汚水ます・取付管の位置を図示した位置図(住宅地図等)及び箇所図(公図写し)を作成し、竣工図(平面・縦断・横断図)1部を添付するものとする。

イ 出来形をとりまとめた公共汚水ます設置・取付管工調書を整理するものとする。

ウ 各申出者より提出された「公共汚水ます等設置位置申出書」により設置位置の確認を行うとともに、変更等が生じた場合はその旨を記入するものとする。

エ 出来形図として、既設構造物等と取付管との位置関係を示した本管から公共汚水ますまでの平面図・断面図(ます深検討図等)、並びに公共汚水ますの深さ・取付管延長等を示した横断図(管割図等)を作成するものとする。

オ 工事写真は、ポール等で公共汚水ます及び取付管の位置を示した写真と公共汚水ますの深さ確認写真、形状写真及び取付管布設状況写真に必要事項を記入し整理するものとする。

☑5) 仮復旧

仮復旧の施工管理については下記を標準とするが、なお、現場条件等により、これにより難しい場合は監督員と協議のこと。

工事内容	施工方法	出来形管理	品質管理	写真管理
1 仮復旧を取壊し、本復旧する場合の仮復旧	福島県土木部共通仕様書アスファルト舗装工のうち、各種温度管理、天候について制約は除くが、走行に支障がないよう管理すること。	福島県土木部共通仕様書アスファルト舗装工（表層工）のうち、小規模以下の厚さ（-9mm）及び幅（-25mm）のみとする。	福島県土木部共通仕様書アスファルト舗装のうち、舗設現場の試験を除く。	福島県土木部共通仕様書アスファルト舗装（品質管理）及びアスファルト舗装工（表層工）に準ずるが、左記の項目で適用しない項目は含まれない。
2 仮復旧で竣工	福島県土木部共通仕様書アスファルト舗装工に準ずる。	福島県土木部共通仕様書アスファルト舗装工（表層工）に準ずる。	福島県土木部共通仕様書アスファルト舗装に準ずる。	福島県土木部共通仕様書アスファルト舗装（品質管理）及びアスファルト舗装工（表層工）に準ずる。

☑3 公共汚水ます

受注者は、公共汚水ますの施工に際し、次の事項を遵守しなければならない。

- 1) 排水設備義務者に対し、工事着手前に公共汚水ます申出書の提出を受け、設計書との相違を確認し、その施工数量を監督員と協議すること。
- 2) 排水設備義務者から公共汚水ます申出書の提出を得られない場合は、別途監督員と協議すること。
- 3) 工事実施のための土地立ち入り等については共通仕様書によるが、特に次の事項を遵守しなければならない。

ア 公共汚水ますを設置する私有地への立ち入りにあたっては、監督員と連絡を取り、住民及び権利者の了解を得るものとする。

イ 立木の伐採等を必要とする場合は、監督員と協議し、あらかじめ所有者の了解を得なければならない。

ウ 土地使用、原形復旧、立木伐採補償等に必要な費用は、受注者の負担とする。

- 4) 受注者は会津若松市工事請負契約約款第1条第4項の規定により、工事の実施過程で知り得た秘密を第三者に漏らしてはならない。

□第27章 その他

令和 年 月 日

印

費目		費用	内容	支払額（税抜き）
共通仮設費	営繕費	借上費	現場事務所、試験室、労働者宿舎、倉庫、材料保管場所等の敷地借上げに要した地代及び建物を建築する代わりに貸しビル、マンション、民家等を長期借上げした場合に要した費用	円
		宿泊費	労働者が、旅館、ホテル等に宿泊した場合に要した費用	円
		労働者送迎費	労働者をマイクロバス等で日々当該現場に送迎輸送（水上輸送を含む）をするために要した費用（運転手賃金、車両損料、燃料費等含む）	円
	小計			円
現場管理費	労務管理費	募集及び解散に要する費用	労働者の赴任手当、労働者の帰省旅費、労働者の帰省手当	円
		賃金以外の食事、通勤等に要する費用	労働者の食事補助、交通費の支給	円
	小計			円
合計				円

(注) 上記支払額を証明する書類及び金額集計表(任意様式)を添付すること。

会津若松市上下水道局 下水道施設課 ○○○ 行 (FAX:0242-23-8870)

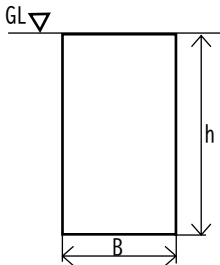
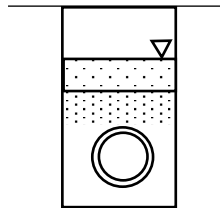
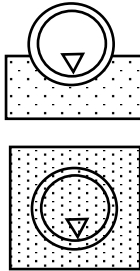
施工に応じた点検項目を設定すること。
「路面の凹凸」
「強風で倒れる恐れのある看板」等。

記載例

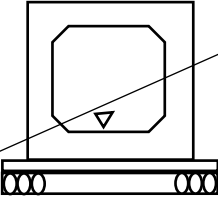
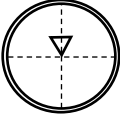
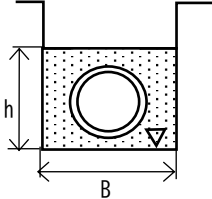
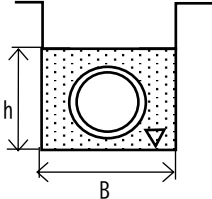
異常気象時等現場点検結果報告書 (例)

工事名	第○○○○号 ○○○○○○○○○工事	
場 所	市	地内
受注者	○○○○○(株)	
現場代理人	○○○○	
点検日時 (24時間表示)	開 始	令和○○年○○月○○日○○時○○分
	終 了	令和○○年○○月○○日○○時○○分
点検項目	異常の有無	
○現場内の状況		
・法面の崩壊	無し	
・法面の亀裂	有り (延長00m、法長00m)	
・法面からの湧水	無し	
・路面の陥没	無し	
・仮設の設置状況	無し	
・工事名看板、規制看板の設置状況	無し	
・架空線の切断、電柱の転倒等	無し	
・河川、水路の水位の上昇状況	無し	
・土石流の発生	無し	
・地すべりの発生	無し	
○現場周辺の状況		
・法面の状況	無し	
・路面の状況	無し	
・流末排水の状況	無し	
・雨量計の読み取り	000 mm	
・土石流危険渓流の状況	無し	
・砂防指定地の状況	無し	
・急傾斜地崩壊危険区域の状況	無し	
・地すべり危険区域の状況	無し	
・その他異常の有無	無し	
処置内容		
・No. 0 ~ No. 10左側、切土法面に亀裂発見したため、杭柵を施工し、ブルーシートを被せて応急処置を行った。		

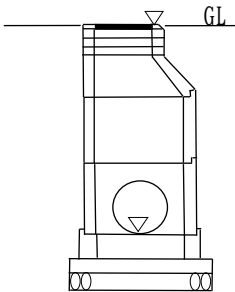
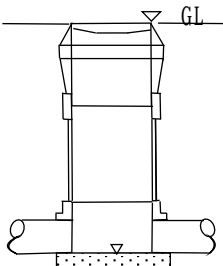
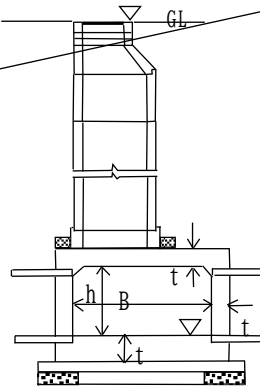
会津若松市上下水道局下水道工事出来形管理基準及び規格値

編	章	節	条	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
						(mm)			
下水道	1 管路	3 管きょ工（開削）	3 管路土工	管路掘削	深さ h	±30	マンホール間ごとに1箇所測定する。		
					幅 B	-50			
下水道	1 管路	3 管きょ工（開削）	3 管路土工	管路埋戻	基準高▽	±30	マンホール間ごとに1箇所測定する。		
下水道	1 管路	3 管きょ工（開削）	4 管布設工	管布設 （自然流下管）	基準高▽	±30	基準高、中心線の変位（水平）は、マンホール間の中央部及び両端部を測定する。		
					中心線の変位（水平）	±50			
					勾配	±20%			
					延長 ℓ	-ℓ/500かつ-200	延長ℓはマンホール間を測定する。		
					総延長 L	-200			

会津若松市上下水道局下水道工事出来形管理基準及び規格値

編	章	節	条	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
						(mm)			
下水道	1 管路	3 管きよ工 (開削)	4 管布設工	矩形渠 (プレキャスト)	基準高▽	±30	基準高、中心線の変位（水平）は、施工延長20mにつき1箇所の割合で測定する。 延長ℓはマンホール間を測定する。		
					中心線の変位（水平）	±50			
					勾配	±20%			
					延長 ℓ	-ℓ/500かつ-200			
					総延長 L	-200			
下水道	1 管路	3 管きよ工 (開削)	4 管布設工	圧送管	基準高▽	±30	施工延長40mにつき1箇所の割合で測定する。		
					中心線の変位（水平）	±50			
					総延長	-200			
下水道	1 管路	3 管きよ工 (開削)	5 管基礎工	砂基礎	基準高▽	±30	各マンホール間の中央部及び両端部等を測定する。		
					幅 B	-50			
					厚さ h	-30			
下水道	1 管路	3 管きよ工 (開削)	5 管基礎工	碎石基礎	基準高▽	±30	各マンホール間の中央部及び両端部等を測定する。		
					幅 B	-50			
					厚さ h	-30			

会津若松市上下水道局下水道工事出来形管理基準及び規格値

編	章	節	条	工種	測定項目		規格値 (mm)	測定基準	測定箇所	摘要
下水道	1 管路	8 マンホール工	4 組立マンホール工	組立マンホール工	基準高▽		±30	1施工箇所ごとに測定する。		
					人孔天端高		±30			
下水道	1 管路	8 マンホール工	5 小型マンホール工	組立マンホール工	基準高▽		±30	1施工箇所ごとに測定する。		
					人孔天端高		±30			
下水道	1 管路	9 特殊マンホール工	4 躯体工	現場打ち特殊人孔	基準高▽		±30	1施工箇所ごとに測定する。		
					幅 B		-30			
					高さ h		±30			
					壁厚 t		-20			
					人孔天端高		±30			

会津若松市上下水道局下水道工事出来形管理基準及び規格値

編	章	節	条	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
						(mm)			
下水道	1 管路	10 取付管及び びます工	4 ます設置工	公共ます	ます深h	±30	1 施工箇所ごとに測定する。		
下水道	1 管路	10 取付管及び びます工	5 取付管布設工	取付管	延長（L）	-200	1 施工箇所ごとに測定する。		

会津若松市上下水道局下水道工事品質管理基準及び規格値

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値		試験基準	摘要	試験成績書等による確認
管布設工（開削）	管きよ材料（下水道用リブ付硬質塩化ビニル管）	必須	外観・形状	目視による	[外観検査] （１）日本下水道協会「認定標章」の表示があること。もしくは、同等以上の材料とする。		（１）外観・形状検査は全数について行う。 （２）寸法、引張試験、偏平試験、負圧試験、耐薬品性試験およびビカット軟化温度試験は、日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。		○
			寸法	JSWAS K-13による	（管種の確認を行う） （２）検査項目および判定基準は次のとおり。				
			引張試験		検査項目	判定基準			
			偏平試験		有害な傷	管の強さ、水密性および耐久性に悪影響を及ぼす傷があつてはならない。（かすり傷程度のものは差し支えない）			
			負圧試験		滑らかさ	明らかな凹凸がないこと。			
			耐薬品性試験		割れ	割れないこと。			
			ビカット軟化温度試験		ねじれ	著しいねじれがないこと。			
					管の断面形状	管の断面は、実用的に真円で、その両端面は管軸に対して直角でなければならない。			
					実用上の真っすぐ	実用上、真っすぐであること。			

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値		試験基準	摘要	試験成績書等による確認
マンホール設置工	管きよ材料（組立マンホール側塊）	必須	外観	目視による	[外観検査] （１）日本下水道協会「認定標章」の表示があること。もしくは、同等以上の材料とする。 （２）検査項目および判定基準は次のとおり。		（１）外観検査は全数について行う。 （２）形状・寸法及びコンクリートの圧縮強度試験、曲げ強度試験、接合部の水密性試験は、日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。		○
			形状・寸法	JSWAS A-11による					
			コンクリートの圧縮強度試験						
			軸方向耐圧試験						
			接合部の水密性試験						
			側方曲げ強さ試験						
	管きよ材料（下水道用鑄鉄製マンホール蓋）	必須	外観	目視による	[外観検査] （１）日本下水道協会「認定標章」の表示があること。もしくは、同等以上の材料とする。 （２）有害なきずが無く、外観がよいこと。		（１）外観検査は全数について行う。 （２）寸法・構造、材質試験、荷重たわみ試験及び耐荷重試験は、日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。		○
			形状・寸法	JSWAS G-4による					
			コンクリートの圧縮強度試験						
			軸方向耐圧試験						
			接合部の水密性試験						

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値		試験基準	摘要	試験成績書等による確認
マンホール設置工	管きよ材料（マンホール足掛け金物）	必須	外観	目視による	〔外観検査〕 被覆材は有害な割れ、破損等が無いこと。		外観検査は全数について行う。		○
			形状・寸法		品質を判定できる資料、または試験成績表を提出する。	(1) 芯材 JIS G 4303(SUS403, SUS304) JIS G 3507(SWRCH12R, SWCH12R) JIS G 3539(SWRCH12R) の規格に適合すること。			
			材質						
	管きよ材料（下水道用塩化ビニル製小型マンホール）	必須	外観・形状	目視による	〔外観検査〕 (1) 日本下水道協会「認定標章」の表示があること。もしくは、同等以上の材料とする。 (2) 検査項目および判定基準は次のとおり。		(1) 外観検査は全数について行う。 (2) 寸法、引張試験、負圧試験、耐薬品性試験およびビカット軟化温度試験は、日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。		○
			寸法	JSWAS K-9による。 内蓋は、JSWAS K-7、 防護蓋は、JSWAS G-3による。					
			引張試験		検査項目	判定基準			
			荷重試験		有害な傷	マンホールの強さ、水密性および耐久性に悪影響を及ぼす傷があつてはならない。（かすり傷程度のは差し支えない。）			
			負圧試験						
			耐薬品性試験		滑らかさ	明らかな凹凸がないこと。			
			ビカット軟化温度試験		割れ	割れがないこと。			
					ねじれ	著しいねじれがないこと。			

会津若松市上下水道局下水道工事品質管理基準及び規格値

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値		試験基準	摘要	試験成績書等による確認
ます設置工	管きよ材料（下水道用鑄鉄製防護蓋）	必須	外観・形状	目視による	[外観検査] （１）日本下水道協会「認定標章」の表示があること。もしくは、同等以上の材料とする。 （２）有害なきずが無く、外観がよいこと。		（１）外観検査は全数について行う。 （２）寸法、荷重たわみ試験、耐荷重試験及び材質試験は、日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。		○
			寸法	JSWAS G-4による					
			荷重たわみ試験						
			耐荷重試験						
			材質試験						
	管きよ材料（下水道用硬質塩化ビニル管製ます）	必須	外観・形状	目視による	[外観検査] （１）日本下水道協会「認定標章」の表示があること。もしくは、同等以上の材料とする。 （２）検査項目および判定基準は次のとおり。		（１）外観検査は全数について行う。 （２）寸法、引張試験、負圧試験、耐薬品性試験及びビカット軟化温度試験は、日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。		○
			寸法	JSWAS K-7による。 防護蓋は、JSWAS G-3、 立上り部は、JSWAS K-1による。					
			引張試験		検査項目	判定基準			
			荷重試験		有害な傷	マンホールの強さ、水密性および耐久性に悪影響を及ぼす傷があってはならない。（かすり傷程度のものは差し支えない。）			
			負圧試験						
			耐薬品性試験		滑らかさ	明らかな凹凸がないこと。			
			ビカット軟化温度試験		割れ	割れがないこと。			
					ねじれ	著しいねじれがないこと。			

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値		試験基準	摘要	試験成績書等による確認
ます設置工	管きよ材料（下水道用ポリプロピレン製ます）	必須	外観・形状	目視による	[外観検査] （１）日本下水道協会「認定標章」の表示があること。もしくは、同等以上の材料とする。 （２）検査項目および判定基準は次のとおり。		（１）外観検査は全数について行う。 （２）寸法、引張試験、負圧試験、耐薬品性試験及び荷重たわみ試験は、日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。		○
			寸法	JSWAS K-8による。 防護蓋は、JSWAS G-3による。					
			引張試験		検査項目	判定基準			
			荷重試験		有害な傷	マンホールの強さ、水密性および耐久性に悪影響を及ぼす傷があってはならない。（かすり傷程度のものは差し支えない。）			
			負圧試験		滑らかさ	明らかな凹凸がないこと。			
			耐薬品性試験		割れ	割れないこと。			
			荷重たわみ試験		ねじれ	著しいねじれがないこと。			

会津若松市上下水道局下水道工事品質管理写真撮影箇所一覧表

工種	写真管理項目		摘要
	撮影項目	撮影頻度 [時期]	
管布設工（開削） 管きょ材料 （下水道用鉄筋コンクリート管）	外観検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	
管布設工（開削） 管きょ材料 （下水道用硬質塩化ビニル管）	外観検査・形状検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	
管布設工（開削） 管きょ材料 （下水道用リブ付硬質塩化ビニル管）	外観検査・形状検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	
管布設工（開削） 管きょ材料 （下水道用強化プラスチック複合管）	外観検査・形状検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	
管布設工（開削） 管きょ材料 （下水道用レジンコンクリート管）	外観検査・形状検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	
管布設工（開削） 管きょ材料 （下水道用ボックスカルバート）	外観検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	
管布設工（開削） 管きょ材料 （下水道用ボックスカルバート）	外観検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	
管布設工（開削） 管きょ材料 （下水道用ダクトイル鋳鉄管）	外観検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	
管布設工（開削） 管きょ材料 （鋼管）	外観検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	
管推進工 管きょ材料 （下水道推進工法用鉄筋コンクリート管）	外観検査・形状検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	
管推進工 管きょ材料 （下水道推進工法用ダクトイル鋳鉄管）	外観検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	
管推進工 管きょ材料 （鋼管）	外観検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	
シールド工 管きょ材料 （シールド工用標準コンクリート系セグメント）	外観検査 （下水道協会規格外） 形状・寸法検査 水平仮組検査 性能検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	
シールド工 管きょ材料 （シールド工用標準鋼製セグメント）	外観検査 （下水道協会規格外） 材料検査 形状・寸法検査 水平仮組検査 性能検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	

会津若松市上下水道局下水道工事品質管理写真撮影箇所一覧表

工種	写真管理項目		摘要
	撮影項目	撮影頻度 [時期]	
管きょ更生工 更生材料 (反転・形成工法)	更生材の曲げ試験(短期) 更生材の耐薬品性試験	試験毎に1回	最新版の「管きょ更生工法における設計・施工管理ガイドライン」に準拠して実施する。
管きょ更生工 更生材料 (製管工法)	更生材の圧縮強度試験 更生材の耐薬品性試験	試験毎に1回	
マンホール設置工 管きょ材料 (組立マンホール側塊)	外観検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	
マンホール設置工 管きょ材料 (下水道用鋳鉄製マンホール蓋)	外観検査・形状検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	
マンホール設置工 管きょ材料 (マンホール足掛け金物)	外観検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	
マンホール設置工 管きょ材料 (下水道用塩化ビニール製小型マンホール)	外観検査・形状検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	
ます設置工 管きょ材料 (下水道用鋳鉄製防護蓋)	外観検査・形状検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	
ます設置工 管きょ材料 (下水道用硬質塩化ビニル製ます)	外観検査・形状検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	
ます設置工 管きょ材料 (下水道用ポリプロピレン製ます)	外観検査・形状検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	
基礎杭工 (既製杭)	外観検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	
	超音波探傷試験	試験毎に1回 [検査実施中]	
	値固め液及び杭周固定液の圧縮強度試験		
	支持力試験		
基礎杭工 (場所打ち杭)	値固め液及び杭周固定液の圧縮強度試験	試験毎に1回 [検査実施中]	
	支持力試験		

会津若松市上下水道局下水道工事出来形管理写真撮影箇所一覧表

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	
下水道	1 管路	3 管きょ工（開削）	3 管路土工		管路掘削	掘削状況	マンホール間ごとに1回 [施工中]	
						深さ	マンホール間ごとに1回 [掘削後]	
						幅		
下水道	1 管路	3 管きょ工（開削）	3 管路土工		管路埋戻	埋戻状況	マンホール間ごとに1回 [施工中]	
下水道	1 管路	3 管きょ工（開削）	4 管布設工		管布設 （自然流下管）	布設状況	マンホール間ごとに1回 [施工中]	
						中心線の変位（水平）	マンホール間ごとに1回 [布設後]	
下水道	1 管路	3 管きょ工（開削）	4 管布設工		矩形渠 （プレキャスト）	布設状況	施工延長20mにつき1回 [施工中]	
						中心線の変位（水平）	施工延長20mにつき1回 [布設後]	
下水道	1 管路	3 管きょ工（開削）	4 管布設工		圧送管	布設状況	施工延長40mにつき1回 [施工中]	
						中心線の変位（水平）	施工延長40mにつき1回 [布設後]	
下水道	1 管路	3 管きょ工（開削）	5 管基礎工		砂基礎	施工状況	マンホール間ごとに1回 [施工中]	
						幅	マンホール間ごとに1回 [施工後]	
						厚さ		

会津若松市上下水道局下水道工事出来形管理写真撮影箇所一覧表

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	
下水道	1 管路	3 管きょ工（開削）	5 管基礎工		砕石基礎	施工状況	マンホール間ごとに1回 [施工中]	
						幅	マンホール間ごとに1回 [施工後]	
						厚さ		
下水道	1 管路	3 管きょ工（開削）	5 管基礎工		コンクリート基礎	施工状況	マンホール間ごとに1回 [施工中]	
						幅	マンホール間ごとに1回 [施工後]	
						厚さ		
下水道	1 管路	3 管きょ工（開削）	5 管基礎工		まくら土台基礎	設置状況	マンホール間ごとに1回 [施工中]	
下水道	1 管路	3 管きょ工（開削）	5 管基礎工		はしご胴木基礎	施工状況	マンホール間ごとに1回 [施工中]	
						幅	マンホール間ごとに1回 [設置後]	
						厚さ		
下水道	1 管路	3 管きょ工（開削）	6 水路築造工		現場打水路	布設状況	施工延長20mにつき1回 [施工中]	
						中心線の変位（水平）	施工延長20mにつき1回 [施工後]	
						幅		
						高さ		
						厚さ		
下水道	1 管路	3 管きょ工（開削）	7 管路土留工		鋼矢板土留	打込状況	施工延長20mにつき1回 [打込中]	任意仮設の場合は除く
						根入長	施工延長20mにつき1回 [打込前後]	
						変位	施工延長20mにつき1回 [打込後]	
						数量	全数量 [打込後]	

会津若松市上下水道局下水道工事出来形管理写真撮影箇所一覧表

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	
下水道	1 管路	8 マンホール工	3 現場打ちマンホール工		現場打ちマンホール工	据付状況	1施工箇所に1回 [施工中]	
						幅（内法）	1施工箇所に1回 [施工後]	
						壁厚		
下水道	1 管路	8 マンホール工	3 現場打ちマンホール工		マンホール基礎工	施工状況	1施工箇所に1回 [施工中]	
						床掘深	1施工箇所に1回 [施工後]	
						基礎工幅		
						基礎工高		
						コンクリート幅		
						コンクリート高		
下水道	1 管路	8 マンホール工	4 組立マンホール工		組立マンホール工	据付状況	1施工箇所に1回 [施工中]	
下水道	1 管路	8 マンホール工	5 小型マンホール工		小型マンホール工	据付状況	1施工箇所に1回 [施工中]	
下水道	1 管路	9 特殊マンホール工	4 躯体工		現場打特殊人孔	施工状況	1施工箇所に1回 [施工中]	
						幅	1施工箇所に1回 [施工後]	
						高さ		
						壁厚		
下水道	1 管路	9 特殊マンホール工	伏せ越し室・雨水吐室工		伏せ越し室・雨水吐室	施工状況	1施工箇所に1回 [施工中]	
						幅	1施工箇所に1回 [施工後]	
						高さ		
						厚さ		

会津若松市上下水道局下水道工事出来形管理写真撮影箇所一覧表

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	
下水道	1 管路	9 特殊マンホール工	伏せ越し管工		伏せ越し管	布設状況	1施工箇所 に1回 [施工中]	
						中心線の変位（水平）	1施工箇所 に1回 [施工後]	
下水道	1 管路	9 特殊マンホール工	越流堰（雨水吐室）		越流堰（雨水吐室）	施工状況	1施工箇所 に1回 [施工中]	
						幅（厚さ）	1施工箇所 に1回 [施工後]	
						高さ（深さ）		
						延長（長さ）		
下水道	1 管路	9 特殊マンホール工			中継ポンプ施設	施工状況	1施工箇所 に1回 [施工中]	
						幅、長さ	1施工箇所 に1回 [施工後]	
						深さ		
						壁厚		
下水道	1 管路	10 取付管及びます工	4 ます設置工事		公共ます	設置状況	1施工箇所 に1回 [施工中]	
						ます深	1施工箇所 に1回 [施工後]	
下水道	1 管路	10 取付管及びます工	5 取付管布設工		取付管	布設状況	1施工箇所 に1回 [施工中]	

総括情報表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	B7 会津若松市上下水道局 実施設計書 当初 00000000000 0 1 実施単価 51 L (会津若松1) 地区 00-07.09.15(0) 1 土木工事 当初_公共下水道管理設工事(枝線)新横町工区		
	当 世 代		前 世 代
前払率 諸経費工種 冬期歩掛補正 契約保証補正 施工地域補正 現場環境改善費 週休二日補正 施工時期補正率値	40 23 下水道(2) 00 冬期割増なし 01 金銭的保証 06 (土木)一般交通影響有り2 00 必要無し 02 4週8休以上(月単位) 0.83		

工種条件

条件	条件値	名称
A 水替費区分	0	水替費なし
	1	水替費あり
B 山林砂防工置き換え区分	0	山林砂防工置き換えなし
	1	山林砂防工置き換えあり
C 時間的制約を受ける場合の労務単価補正	1	時間的制約を受ける(補正1.06)
	2	時間的制約を著しく受ける(補正1.14)
D 夜間工事の場合の労務単価補正	1	20時開始の夜間工事(補正1.5)
	2	19時開始の夜間工事(補正1.437)
	3	18時開始の夜間工事(補正1.375)
E 特殊勤務費[円]		
F 作業日数集計指示	1	作業日数集計無
	2	作業日数集計1
	3	作業日数集計2
	4	作業日数集計3
	5	作業日数集計4
	6	作業日数集計5

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費					X1000
単独費					Y1036
	1	式			工種 第0001号表
直接工事費					
運搬費					Z0004
		式			
運搬費(単独)					Y2036
	1	式			工種 第0019号表
安全費					Z0008
		式			
安全費(単独)					Y2036
	1	式			工種 第0020号表
共通仮設費(率)					Z0009
		式			
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
		式			
工事原価					

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
一般管理費						
			式			
工事価格						
工事価格	(まるめ)					
消費税等相当額						
			式			
工事費計						

工 種 明 細 表

頁0-0004

[illegible]

工 種 明 細 表

頁0-0005

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
内径150mm管布設工 Y2036					工種 第0002号表
土工費					Y3020
	1	式			工種 第0003号表
マンホール継手工					Y3020
	1	式			工種 第0004号表
マンホール継手工 削孔費（上流）					Y3020
	1	式			工種 第0005号表
マンホール継手工 資材費					Y3020
	1	式			工種 第0006号表
管布設費					Y3020
	1	式			工種 第0007号表
土留費					Y3020
	1	式			工種 第0008号表
水替費					Y3020
	1	式			工種 第0009号表
敷鉄板工					Y3020
	1	式			工種 第0010号表
*** 単位当たり ***					
	1	式			

工 種 明 細 表

頁0-0006

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土工費 Y3020					工種 第0003号表
機械掘削工（バックホウ） 加ラ型 山0.28m3（平0.2m3）	59.0	m3			SG002 00 070915 施工 第0 -0001号表
碎石基礎工 機械施工 10m3以上 時間的制約を受けない 夜間作業ではない	15.8	m3			V0070 00 070915 施工 第0 -0003号表
再生切込碎石埋戻し工 BH0.2m3 再生切砕0～40mm タンバ締固め 路体	13.2	m3			V0182 00 070915 施工 第0 -0004号表
再生切込碎石埋戻し工 BH0.2m3 再生切砕0～40mm タンバ締固め 路床	29.3	m3			V0182 00 070915 施工 第0 -0007号表
発生土処分工（機械積込み） 運搬距離 L=4.9km ダンプトラック 4 t 積	59.0	m3			SG015 00 070915 施工 第0 -0008号表
*** 単位当たり ***	1	式			

マンホール継手工 Y3020					工種 第0004号表
リブ用可とう性マンホール継手工(拡径型) 150mm	2	箇所			V1100 00 070915 施工 第0 -0011号表
*** 単位当たり ***	1	式			

マンホール継手工 削孔費（上流） Y3020					工種 第0005号表
マンホール削孔費 150mm 1号、特1号	1	箇所			F0007 00 070915
*** 単位当たり ***	1	式			

工 種 明 細 表

頁0-0007

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
マンホール継手工 資材費 Y3020					工種 第0006号表
マンホール可とう継手 リブ管 150用					F0001 00 070915
	2	個			
*** 単位当たり ***	1	式			

管布設費 Y3020					工種 第0007号表
リブ付硬質塩化ビニル管設置工 呼び径 150mm S0(20m以上)					SG702 00 070915
	31.7	m			施工 第0 -0012号表
*** 単位当たり ***	1	式			

土留費 Y3020					工種 第0008号表
たて込み簡易土留 建込工 2 . 5 m以下					SG035 00 070915
	32.6	m			施工 第0 -0013号表
たて込み簡易土留 引抜工 2 . 5 m以下					SG036 00 070915
	32.6	m			施工 第0 -0014号表
建込簡易土留賃料					W0000
	1	式			
*** 単位当たり ***	1	式			

工 種 明 細 表

頁0-0008

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
水替費 Y3020					工種 第0009号表
ポンプ運転工 作業時排水 発動発電機 ポンプ台数 1台	2	日			SG080 00 070915 施工 第0 -0015号表
ポンプ運転工 据付・撤去工	1.0	現場			SG081 00 070915 施工 第0 -0016号表
*** 単位当たり ***	1	式			
*****					*****
敷鉄板工 Y3020					工種 第0010号表
敷鉄板賃料	1	式			W0000
*** 単位当たり ***	1	式			
*****					*****
1号マンホール設置工 Y2036					工種 第0011号表
1号マンホール資材費	1	式			Y3020 工種 第0012号表
1号マンホール設置費	1	式			Y3020 工種 第0013号表
*** 単位当たり ***	1	式			

工 種 明 細 表

頁0-0009

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1号マンホール資材費 Y3020					工種 第0012号表
マンホール蓋 T - 14 600 浮上防止・転落防止兼用梯子無し	2	個			TG238 00 070915
マンホール 調整リング H100 600×100	1	個			TG222 00 070915
マンホール 調整リング H200 600×200	1	個			TG226 00 070915
マンホール (ステップ垂直型) 斜壁塊 600A 600×900×300	2	個			TG146 00 070915
マンホール 底塊 (底なし) 1号-C 900×1500	1	個			F0016 00 070915
マンホール 底塊 (底なし) 1号 - d 900×1800	1	個			TG188 00 070915
マンホール 底版塊 900用 1200	2	個			TG203 00 070915
*** 単位当たり ***	1	式			

工 種 明 細 表

頁0-0010

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1号マンホール設置費 Y3020					工種 第0013号表
組立マンホール設置工 1号(内径 900mm) 深さ3m以下 S1(4箇所未満)	2	箇所			SG705 00 070915 施工 第0 -0017号表
再生骨材(骨材)クラッシャラン RC - 40 0.35m3/箇所 1.2×1.2×0.2×(1+0.2) 2箇所×0.35	0.70	m 3			T8454 00 070915
モルタル上塗り1号 混合比 1:2 0.84m2/箇所 2箇所×0.84	1.7	m2			VG0951 00 070915 施工 第0 -0018号表
コンクリート 小型構造物 人力打設 インパート工 0.18m3/1箇所×2箇所	0.36	m3			SPB401 00 070915 施工 第0 -0020号表
*** 単位当たり ***	1	式			

公共汚水ます設置工 Y2036					工種 第0014号表
土工費	1	式			Y3020 工種 第0015号表
公共汚水ます設置費	1	式			Y3020 工種 第0016号表
*** 単位当たり ***	1	式			

工 種 明 細 表

頁0-0011

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土工費 Y3020					工種 第0015号表
機械掘削工（バックホウ） 加型 山0.28m3（平0.2m3）	3.0	m3			SG002 00 070915 施工 第0 -0001号表
再生切込砕石埋戻し工 BH0.2m3 再生切砕0～40mm タンパ締固め	2.1	m3			V0182 00 070915 施工 第0 -0021号表
発生土処分工（機械積込み） 運搬距離 L = 4.9km ダンプトラック 4 t 積	3.0	m3			SG015 00 070915 施工 第0 -0008号表
*** 単位当たり ***	1	式			
*****					*****
公共汚水ます設置費 Y3020					工種 第0016号表
ます設置工（塩化ビニル製） ます径 200mm S1(5箇所未満)	2	箇所			SG707 00 070915 施工 第0 -0022号表
鋳鉄製防護ふた ロック式・T-8 ます径 200	2	個			TG77C 00 070915
防護コンクリート工	2	箇所			V7200 00 070915 施工 第0 -0023号表
取付管布設工および支管取付工 管径 100mm S1(5箇所未満)	1	箇所			SG708 00 070915 施工 第0 -0026号表
取付管布設工および支管取付工 管径 100mm S1(5箇所未満)	1	箇所			SG708 00 070915 施工 第0 -0027号表
鞘管設置工（STK 200mm） 取付管 100mm用	2.2	m			V1600 00 070915 施工 第0 -0028号表
*** 単位当たり ***	1	式			

工 種 明 細 表

頁0-0012

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設工 Y2036					工種 第0017号表
交通管理工					Y3020
	1	式			工種 第0018号表
*** 単位当たり ***	1	式			
*****					*****
交通管理工 Y3020					工種 第0018号表
交通誘導警備員 B [0.908]	18	人			R0900 00 070915
*** 単位当たり ***	1	式			
*****					*****
運搬費（単独） Y2036					工種 第0019号表
仮設材の運搬費 運搬質量 14.6 t 運搬距離（片道）10km	1	式			S0070 00 070915 施工 第0 -0031号表
仮設材の運搬費 運搬質量 14.6 t 運搬距離（片道）10km	1	式			S0070 00 070915 施工 第0 -0031号表
仮設材等の積み込み、取卸し費 積み込み取卸し（往復分）	14.6	t			S0072 00 070915 施工 第0 -0032号表
*** 単位当たり ***	1	式			

施 工 内 訳 表

頁0-0014

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機械掘削工（バックホウ） SG002 ｸﾛｰﾗ型 山0.28m3（平0.2m3）	100	m3			施工 第0 -0001号表
土木一般世話役 [0.775]	1.900	人			R0010
普通作業員 [0.828]	5.000	人			R0030
バックホウ運転 機 - 1 ｸﾛｰﾗ型 山 0 . 2 8 m3（平積 0 . 2 m3）	11.100	h			S8020 施工 第0-0002号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 ｸﾛｰﾗ型 山0.28m3（平0.2m3） B=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 5					

施 工 内 訳 表

頁0-0015

[illegible]

000000000000

会津若松市上下水道局

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0016

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
砕石基礎工 機械施工 V0070 時間的制約を受けない 夜間作業ではない	10m3以上 100	m3			施工 第0 -0003号表 特単単価適用日：07年09月15日
再生骨材（骨材）クラッシュラン R C - 4 0	120.00	m 3			T8454
砕石基礎設置 手間のみ 機械施工 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.04	100.00	m 3			TGD12
補正率 10m3以上	0	%			#01
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			

再生切込砕石埋戻し工 V0182 再生切砕0～40mm タンバ締固め 路体	BH0.2m3 100	m3			施工 第0 -0004号表 特単単価適用日：07年09月15日
機械投入埋戻工（バックホウ） 刃型 山0.28m3（平0.2m3）	100.00	m3			SG012 施工 第0-0005号表
再生骨材（骨材）クラッシュラン R C - 4 0	126.00	m 3			T8454
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			

00000000000

会津若松市上下水道局

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0017

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機械投入埋戻工（バックホウ） SG012 ｸﾛｰﾗ型 山0.28m3（平0.2m3）	100	m3			施工 第0 -0005号表
土木一般世話役 [0.775]	2.500	人			R0010
普通作業員 [0.828]	3.800	人			R0030
バックホウ運転 機 - 1 ｸﾛｰﾗ型 山 0 . 2 8 m3（平積 0 . 2 m3）	7.600	h			S8020 施工 第0-0002号表
タンバ締固め	100.000	m3			SPA185 施工 第0-0006号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 ｸﾛｰﾗ型 山0.28m3（平0.2m3） B=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 1 0					

00000000000

会津若松市上下水道局

金抜き

頁0-0018

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0019

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
再生切込碎石埋戻し工 V0182 再生切砕0～40mm タンバ締固め 路床	BH0.2m3 100	m3			施工 第0 -0007号表 特単単価適用日：07年09月15日
機械投入埋戻工（バックホウ） 加-ラ型 山0.28m3（平0.2m3）	100.00	m3			SG012 施工 第0-0005号表
再生骨材（骨材）クラッシュラン RC - 4 0	126.00	m 3			T8454
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			

発生土処分工（機械積込み） SG015 運搬距離 L = 4.9km ダンプトラック 4 t 積	1	m3			施工 第0 -0008号表
発生土運搬工 運搬距離 L = 4.9km バックホ 加-ラ型 山0.28m3（平0.2m3）	1.000	m3			SG017 施工 第0-0009号表
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=4.9 運搬距離（km） B=2 ダンプトラック 4 t 積 C=3 バックホ 加-ラ型 山0.28m3（平0.2m3） D=2 D I D 区間有り E=1 良 好					
F=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 1 3					

施 工 内 訳 表

頁0-0020

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生土運搬工 SG017 運搬距離 L = 4.9km バックホウ 加圧型 山0.28m3(平0.2m3)	10	m3			施工 第0 -0009号表
ダンプトラック運転 機 - 2 2 オンロード・ディーゼル 4 t 積級	0.700	日			SK506 施工 第0-0010号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	10	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=4.9 運搬距離 (km) B=1 ダンプトラック 4 t 積級 C=2 バックホウ 加圧型 山0.28m3(平0.2m3) D=2 D I D 区間有り E=1 良 好					
F=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 1 3					

00000000000

会津若松市上下水道局

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0021

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック運転 SK506 機 - 2 2 オンロード・ディーゼル4 t 積級	1	日			施工 第0 -0010号表
運転手（一般） [0.793]	1.000	人			R0130
軽油 ミニローリー（バトロール給油）	32.000	L			T0250
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4 t 積級	1.290	供用日			MA302
ダンプトラックタイヤ損耗 4 t 路面状況 良好 【損料表】	1.290	供用日			K1013
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	日			
A=2 オンロード・ディーゼル4 t 積級 B=1 補正なし C=1 タイヤの損耗状態 良好 D=1 運転労務数量 E=32 燃料消費量					
F=1.29 機械損料数量					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
リブ用可とう性マンホール継手工(拡径型) V1100 150mm	1	箇所			施工 第0 -0011号表 特単単価適用日：07年09月15日
特殊作業員 [0.769]	0.05	人			R0020
*** 単位当たり ***	1	箇所			

00000000000

会津若松市上下水道局

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0022

[illegible]

0000000000

会津若松市上下水道局

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0023

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
たて込み簡易土留 建込工 SG035 2 . 5 m以下	10	m			施工 第0 -0013号表
土木一般世話役 [0.775]	0.230	人			R0010
特殊作業員 [0.769]	0.230	人			R0020
普通作業員 [0.828]	0.470	人			R0030
バックホウ運転 機 - 1 クローラ型 山 0 . 2 8 m3 (平積 0 . 2 m3)	1.300	h			S8020 施工 第0-0002号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 B=1 2 . 5 m以下 下水道標準歩掛 第 1 巻 A - 1 - 2 7					

00000000000

会津若松市上下水道局

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0024

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
たて込み簡易土留 引抜き工 SG036 2 . 5 m以下	10	m			施工 第0 -0014号表
土木一般世話役 [0.775]	0.140	人			R0010
特殊作業員 [0.769]	0.140	人			R0020
普通作業員 [0.828]	0.270	人			R0030
トラックレンタル賃料 油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型 4.9t吊	0.140	日			K0005
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 B=1 2 . 5 m以下 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 2 7					

00000000000

会津若松市上下水道局

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0025

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポンプ運転工 SG080 作業時排水 発動発電機 ポンプ台数 1台	1	日			施工 第0 -0015号表
特殊作業員 [0.769]	0.110	人			R0020
普通作業員 [0.828]	0.050	人			R0030
工事用水中モータポンプ (潜水ポンプ) 口径 5 0 mm 揚程 5 m	1.000	日			M4051
発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 3 k V A	1.000	日			M4302
諸雑費	18.000	%			#09
*** 単位当たり ***	1	日			
A=2 作業時排水 発動発電機 B=1 ポンプ台数 1台 C=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 6 6					

00000000000

会津若松市上下水道局

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0026

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポンプ運転工 据付・撤去工 SG081	1	現場			施工 第0 -0016号表
普通作業員 [0.828]	0.080	人			R0030
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	現場			
A=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 6 6					

組立マンホール設置工 SG705 1号(内径 900mm) 深さ3m以下 S1(4箇所未満)	1	箇所			施工 第0 -0017号表
組立マンホール設置 手間のみ 1号(内径 900mm) 深さ3m以下 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.03	1.000	箇所			TGM11
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=4 1号(内径 900mm) 深さ3m以下 B=2 S1(4箇所未満) C=2 時間的制約を受けない D=2 夜間作業 無 E=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 2 - 1 0					

00000000000

会津若松市上下水道局

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0027

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
モルタル上塗り 1号 VG0951 混合比 1 : 2 0.84m2/箇所	1	m2			施工 第0 -0018号表 特単単価適用日 : 07年09月15日
左官 [0.835]	0.33	人			R0290
普通作業員 [0.828]	0.33	人			R0030
モルタル (材料費) セメント (普通ポルトランド) 25kg袋入 1:2 0.84m2/箇所 厚さ2cm (0.84 × 0.02)	0.02	m3			S1935 施工 第0-0019号表
諸雑費 5 ~ 1 4 円	1	式			#10
*** 単位当たり ***	1	m2			

モルタル (材料費) S1935 セメント (普通ポルトランド) 25kg袋入 1:2	1	m3			施工 第0 -0019号表
セメント 普通ポルトランド (袋物) 2 5 kg / 袋	0.720	t			T0010
コンクリート用骨材 砂 (洗)	0.950	m 3			T8300
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m3			
B=2 C=3 D=1 1:2 セメント (普通ポルトランド) 25kg袋入 土木工事標準積算基準					- 4 - - 8

000000000000

会津若松市上下水道局

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0028

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
コンクリート SPB401 小型構造物 標準単価： 33,825 機械構成比： 0.00% 労務構成比： 42.01% 材料構成比： 57.99% 市場単価構成比： 0.00%	人力打設 0.00%		施工 第0 -0020号表 1 m3	
普通作業員 [0.828] R0030		22.75%	普通作業員 TPR0030	
土木一般世話役 [0.775] R0010		9.31%	土木一般世話役 TPR0010	
特殊作業員 [0.769] R0020		7.89%	特殊作業員 TPR0020	
生コンクリート T8600 18 - 8 - 40 - 60%		57.99%	生コンクリート TPTC618 24 - 12 - 25 高炉 W / C 55%	
*** 単位当たり ***				
A=2 小型構造物 B=4 人力打設 E=2 一般養生 G=2 現場内小運搬なし K=2 高炉				
L=13 18 - 8 - 40 - 60% M=1 小型車割増なし N=1 冬期割増なし O=1 全ての費用 P=1 土木工事標準積算基準 - 4 - - 4				

00000000000

会津若松市上下水道局

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0029

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
再生切込碎石埋戻し工 V0182 再生切砕0～40mm タンバ締固め	BH0.2m3 100	m3			施工 第0 -0021号表 特単単価適用日：07年09月15日
機械投入埋戻工（バックホウ） 加-ラ型 山0.28m3（平0.2m3）	100.00	m3			SG012 施工 第0-0005号表
再生骨材（骨材）クラッシュラン R C - 4 0	126.00	m 3			T8454
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			

ます設置工（塩化ビニル製） SG707 ます径 200mm S1(5箇所未満)	1	箇所			施工 第0 -0022号表
ます設置工（塩化ビニル製） 材工共 ます径200mm 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.01	1.000	箇所			TGS02
鋳鉄製防護蓋設置費 手間のみ 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.01	1.000	個			TG776
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=2 ます径 200mm B=2 S1(5箇所未満) C=2 時間的制約を受けない D=2 夜間作業 無 E=1 防護蓋設置費加算 有					
F=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 4 - 1					

00000000000

会津若松市上下水道局

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0030

[illegible]

000000000000

会津若松市上下水道局

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0031

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
コンクリート SPB401 無筋・鉄筋構造物 標準単価： 28,051 機械構成比： 0.00% 労務構成比： 29.40% 材料構成比： 70.60% 市場単価構成比： 0.00%	人力打設 0.00%		施工 第0 -0024号表 1 m3	
R0030 普通作業員 [0.828]		13.20%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 [0.769]		7.51%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		6.69%	TPR0010 土木一般世話役	
T8600 生コンクリート 18 - 8 - 40 - 60%		70.60%	TPTC618 生コンクリート 24 - 12 - 25 高炉 W / C 55%	
*** 単位当たり ***				
A=1 無筋・鉄筋構造物 B=4 人力打設 E=2 一般養生 G=2 現場内小運搬なし K=2 高炉				
L=13 18 - 8 - 40 - 60% M=1 小型車割増なし N=1 冬期割増なし O=1 全ての費用 P=1 土木工事標準積算基準 - 4 - - 4				

00000000000

会津若松市上下水道局

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0032

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
型枠 SPB431 一般型枠 標準単価： 9,352.2 機械構成比： 0.00% 労務構成比： 100.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00%	鉄筋・無筋構造物		施工 第0 -0025号表 1	m2
型わく工 [0.898] R0260		46.19%	型わく工 TPR0260	
普通作業員 [0.828] R0030		25.55%	普通作業員 TPR0030	
土木一般世話役 [0.775] R0010		9.57%	土木一般世話役 TPR0010	
*** 単位当たり ***				
A=1 一般型枠 B=1 鉄筋・無筋構造物 C=1 土木工事標準積算基準 - 4 - 2				

施 工 内 訳 表

頁0-0033

[illegible]

000000000000

会津若松市上下水道局

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0034

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
取付管布設工および支管取付工 SG708 管径 100mm S1(5箇所未満)	1	箇所			施工 第0 -0027号表
取付管布設工および支管取付工 材工共 管径100mm 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.02	1.000	箇所			TGT01
可とう性支管設置費加算額 管径100mm	1.000	箇所			TGT11
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=1 管径 100mm B=2 S1(5箇所未満) C=2 時間的制約を受けない D=2 夜間作業 無 E=3.3 取付管長 (m)					
F=1 本管材質がコンクリート製(補正有) G=1 可とう性支管設置費加算 有 H=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 4 - 4					

施 工 内 訳 表

頁0-0035

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鞘管設置工 (STK 200mm) V1600 取付管 100mm用	10	m			施工 第0 -0028号表 特単単価適用日：07年09月15日
床掘り 土砂 現場制約あり	0.37	m3			SPA161 施工 第0-0029号表
発生土処分 (機械積込み) 運搬距離 L = 4.9km ダンプトラック 4 t 積	0.37	m3			SG015 施工 第0-0008号表
鞘管STK 200mm 10.0×23.5kg t=4.5mm	0.235	t			F0013
鞘管布設工 200mm	10.00	m			V1601 施工 第0-0030号表
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施工パッケージ内訳表

頁0-0036

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
床掘り SPA161 土砂 標準単価： 10,038 機械構成比： 現場制約あり 0.00% 労務構成比： 100.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0029号表 1 m3	
普通作業員 [0.828] R0030		100.00%	普通作業員 TPR0030	
*** 単位当たり ***				
A=1 土砂 B=6 現場制約あり G=1 土木工事標準積算基準 - 1 - 4				

施 工 内 訳 表

頁0-0037

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鞘管布設工 V1601 200mm	10	m			施工 第0 -0030号表 特単単価適用日：07年09月15日
土木一般世話役 [0.775]	0.22	人			R0010
特殊作業員 [0.769]	0.44	人			R0020
普通作業員 [0.828]	0.44	人			R0030
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

仮設材の運搬費 S0070 運搬質量 14.6 t 運搬距離 (片道) 10km	1	式			施工 第0 -0031号表
仮設材の運搬費	1.000	式			
*** 単位当たり ***	1	式			
A=10 運搬距離 (片道距離 : km) B=1 製品長 1 2 m以内 C=14.6 運搬質量 (t) D=0 運賃割増率 (F 1 ~ F 2) E=					
F=1 土木工事標準積算基準 - 2 - - 1 6					

00000000000

会津若松市上下水道局

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0038

[illegible]

登録単価一覧表

頁0-0039

[illegible]

公共下水道管埋設工事（枝線）新横町工区

【单独費】

数量計算書

(枝線) 新横町工区

【单独】 No. 1

[illegible]

(枝線) 新横町工区

No.1

[illegible]

(枝線) 新横町工区

【单独】 No. 1

[illegible]

(BH0. 20m3)	单独施工	32. 60	m	(BH0. 35m3)	单独施工	m	(BH0. 60m3)	单独施工	m
			m			m			m
	防護工事		m		防護工事	m		防護工事	m
			m			m			m

(枝線) 新横町工区

No. 1

[illegible]

マンホール深集計表

(枝線) 新横町工区

【単独】 No.1

上段：当初

下段：変更

1号			0号			特1号			副管	
MH深 (H)	箇所数		MH深 (H)	箇所数		MH深 (H)	箇所数		副管深 (H)	箇所数
	4箇所以上	4箇所未満		4箇所以上	4箇所未満		4箇所以上	4箇所未満		
H ≤ 3.0		2	H ≤ 2.0			H ≤ 2.0			H < 1.0	
3.0 < H ≤ 4.0			2.0 < H ≤ 3.0			2.0 < H ≤ 3.0			1.0 ≤ H < 1.5	
4.0 < H ≤ 5.0			3.0 < H ≤ 5.0			3.0 < H ≤ 5.0			1.5 ≤ H < 2.0	
									2.0 ≤ H < 2.5	
									2.5 ≤ H < 3.0	
									3.0 ≤ H < 3.5	
									3.5 ≤ H < 4.0	
合 計		2	合 計			合 計			合 計	

塩ビ(本管径φ150又は200)			塩ビ(本管径φ150又は200)			2号			レジン	
MH深 (H)	箇所数 (5箇所未満)		MH深 (H)	箇所数 (5箇所以上)		MH深 (H)	箇所数		MH深 (H)	箇所数
	起点・中間	底部会合		起点・中間	底部会合		4箇所以上	4箇所未満		
H ≤ 2.0			H ≤ 2.0			H ≤ 4.0			H ≤ 1.0	
2.0 < H ≤ 3.5			2.0 < H ≤ 3.5			4.0 < H ≤ 5.0			1.0 < H ≤ 1.5	
						5.0 < H ≤ 6.0			1.5 < H ≤ 2.0	
									2.0 < H ≤ 2.5	
									2.5 < H ≤ 3.0	
									3.0 < H ≤ 3.5	
									3.5 < H ≤ 4.0	
合 計			合 計			合 計			合 計	

(枝線) 新横町工区

【单独】 No. 1

※基礎材の山砂は、市場単価に含まれる

※基礎材の山砂は、市場単価に含まれる

取 付 管 延 長 詳 細

(枝線) 新横町工区

【单独】 No. 1

路線番号	取付管 口径	深　　さ	番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	延長小計 (m)	箇所小計 (箇所)	延長合計 (m)	箇所合計 (箇所)	路線平均 (m/箇所)			
			蓋種類	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)								
4753-2	100	H=1.5m以下	塩ビ蓋											6.60	2	6.60	2	3.300			
			鉄蓋	3.30	3.30																
		H=1.5m超～ 2.0m以下	塩ビ蓋																		
			鉄蓋																		
		H=2.01m以上	マンホール(塩ビ)																		
		H=1.5m以下	塩ビ蓋																		
			鉄蓋																		
		H=1.5m超～ 2.0m以下	塩ビ蓋																		
			鉄蓋																		
		H=2.01m以上	マンホール(塩ビ)																		
		H=1.5m以下	塩ビ蓋																		
			鉄蓋																		
		H=1.5m超～ 2.0m以下	塩ビ蓋																		
			鉄蓋																		
		H=2.01m以上	マンホール(塩ビ)																		
		H=1.5m以下	塩ビ蓋																		
			鉄蓋																		
		H=1.5m超～ 2.0m以下	塩ビ蓋																		
			鉄蓋																		
		H=2.01m以上	マンホール(塩ビ)																		
		H=1.5m以下	塩ビ蓋																		
			鉄蓋																		
		H=1.5m超～ 2.0m以下	塩ビ蓋																		
			鉄蓋																		
		H=2.01m以上	マンホール(塩ビ)																		
		H=1.5m以下	塩ビ蓋																		
			鉄蓋																		
		H=1.5m超～ 2.0m以下	塩ビ蓋																		
			鉄蓋																		
		H=2.01m以上	マンホール(塩ビ)																		
														全　合　計	6.60	2	3.300				
		H=1.5m以下	H=1.5m超～2.0m以下	H=2.01m以上	合計																
塩ビ蓋合計		箇所	箇所	箇所	箇所																
鉄蓋合計		2　箇所	箇所	箇所	2　箇所																
マンシホール(塩ビ)合計		箇所	箇所	箇所	箇所																

建込簡易土留、敷鉄板および水替日数等一覧表

(枝線) 新横町工区

1. 建込簡易土留賃料算出表

(1). 運搬費 L=10kmまで

H=1.5m	円/t	×	2(往復)	×	(9.0*按分率)	t	=	円
H=2.0m	円/t	×	2(往復)	×	(12.0*按分率)	t	=	円
H=2.5m	円/t	×	2(往復)	×	(14.6*按分率)	t	=	円
H=3.0m	円/t	×	2(往復)	×	(18.4*按分率)	t	=	円
H=3.5m	円/t	×	2(往復)	×	(23.0*按分率)	t	=	円
H=4.0m	円/t	×	2(往復)	×	(32.7*按分率)	t	=	円

(2). 積込 取卸費 基地→現地→基地

H=1.5m	円/t	×	(9.0*按分率)	t	=	円
H=2.0m	円/t	×	(12.0*按分率)	t	=	円
H=2.5m	円/t	×	(14.6*按分率)	t	=	円
H=3.0m	円/t	×	(18.4*按分率)	t	=	円
H=3.5m	円/t	×	(23.0*按分率)	t	=	円
H=4.0m	円/t	×	(32.7*按分率)	t	=	円

(3). 土留賃料 (L=30m／1セット)

賃料=(市場単価 (円／日・㎡) × 供用日数 (日) + 1 現場当たり修理費及び損耗費 (円／㎡) × 使用回数／2) × 使用数量 (㎡)
※使用回数N = (転用回数n+1) とする

	L	F1	a	F2	n	A
H=1.5m						90
H=2.0m						120
H=2.5m	32.6		9		1	150
H=3.0m						180
H=3.5m						210
H=4.0m						240

	円
	円
	円
小計	円
	円
	円
	円
合計	円

2. 敷鉄板賃料算出表

(1). 敷鉄板賃料 (L=30m／1セット) 1.5×3.0(縦並べ)

賃料=(市場単価 (円／枚・日) × 供用日数 (日) + 1 現場当たり修理費及び損耗費 (円／枚) × 使用回数／2) × 使用数量 (枚)
※使用回数N = (転用回数n+1) とする

	L	F1	a	F2	n	A
H=1.5m						10
H=2.0m						10
H=2.5m	32.6		9		1	10
H=3.0m						10
H=3.5m						10
H=4.0m						10

	円
	円
	円
小計	円
	円
	円
	円
合計	円

3. 水替工 (ポンプ運転工) 2 日

4. 交通誘導員 18 人

5. 工事名標示板 2 基 (木材費用、設置撤去含む)